

JGA
JAPAN GOLF ASSOCIATION

Rules of Handicapping | Effective January 2020

ゴルファーの技量を均一な尺度で測定し、
すべてのゴルファーが、どこでプレーしても、
ゲームをより一層楽しめるようにするために、
USGAとR&Aは 1つの規則を発行しています。

ハンディキャップ規則

2020年1月施行




ROLEX
PROUD SUPPORTER OF
THE GAME OF GOLF

WORLD HANDICAP SYSTEM
R&A USGA

WORLD HANDICAP SYSTEM
R&A USGA


ROLEX
PROUD SUPPORTER OF
THE GAME OF GOLF

WORLD HANDICAP SYSTEM

R&A USGA

ハンディキャップ規則

2020年1月施行

WORLD HANDICAP SYSTEM



米国ニュージャージー州・リバティコーナーに本拠地を置くUSGAと、スコットランド・セントアンドリュースに本拠地を置くR&Aは、ゴルフ規則、アマチュア資格規則、およびハンディキャップ規則の制定と解釈を含み、ゴルフゲームを共同で世界的に統轄しています。

ゴルフ規則とアマチュア資格規則を共同で発行するにあたり、USGAとR&Aはそれぞれ別の活動管轄で運営しています。USGAはアメリカ合衆国とその準州、およびメキシコにおけるゴルフ規則とアマチュア資格規則の管理に責任を有し、R&Aはその加盟ゴルフ団体の同意を得て、世界中のその他すべての地域において同じ責任を有しています。

ハンディキャップ規則、並びにワールドハンディキャップシステムのすべての要素を共同で発行するにあたり、USGAとR&Aは全世界において共同で運営しています。

www.RandA.org

www.USGA.org

目次

序文	7
用語の定義	10
I. ハンディキャップの基礎 (規則1)	17
規則1 – 目的と承認;ハンディキャップインデックスの取得	18
1.1 ワールドハンディキャップシステムの目的	18
1.2 ワールドハンディキャップシステムの使用承認	19
1.3 プレーヤー、ハンディキャップ委員会、承認された協会の責任	20
1.4 ハンディキャップインデックスの取得方法	22
1.4a. ゴルフ倶楽部に所属する	22
1.4b. ホーム倶楽部を指定する	22
II. ハンディキャップ査定に使用するスコア (規則 2-4)	25
規則2 – ハンディキャップ査定に採用可能なスコア	26
2.1 採用可能なスコア	26
2.1a. 承認されたプレー形式でプレーしたスコア	28
2.1b. ゴルフ規則に従ってプレーしたスコア	31
2.2 採用可能なスコアの最少ホール数	33
2.2a. 18ホールスコアの場合	33
2.2b. 9ホールスコアの場合	33
規則3 – ホールスコアの調整	34
3.1 ハンディキャップ査定のためのホールスコアの上限	34
3.1a. ハンディキャップインデックス取得前	34
3.1b. ハンディキャップインデックス取得後	35
3.2 プレーしなかったホール	36
3.3 スタートしたがホールアウトしなかったホール	38
規則4 – スコアの提出	42
4.1 スコア記録への登録が必要な情報	42

4.1a. 通則	42
4.1b. ハンディキャップインデックス取得前のスコアの場合	43
4.2 スコアを提出できる者	43
4.3 スコア提出の期限	43
4.4 スコアの証明	44
4.5 初回ハンディキャップインデックス取得に必要なスコア枚数	45

III. ハンディキャップ計算とハンディキャップインデックスの更新 (規則5-6) 47

規則5 - ハンディキャップインデックスの計算 48

5.1 スコアデファレンシャルの計算	48
5.1a. 18ホールスコアの場合	48
5.1b. 9ホールスコアの場合	48
5.1c. マイナススコアデファレンシャルの端数処理	49
5.2 ハンディキャップインデックスの計算	50
5.2a. スコア枚数が20枚未満の場合	50
5.2b. スコア枚数が20枚の場合	52
5.2c. プラスハンディキャップインデックスの場合	52
5.3 ハンディキャップインデックスの上限	52
5.4 ハンディキャップインデックスの更新頻度	53
5.5 スコアの有効期限とハンディキャップインデックスの失効	54
5.6 プレーイングコンディション計算	54
5.7 ローハンディキャップインデックス	58
5.8 ハンディキャップインデックスの増加制限	60
5.9 例外的なスコアの提出	61

規則6 - コースハンディキャップとプレーイングハンディキャップの計算 63

6.1 コースハンディキャップの計算	63
6.1a. 18ホールラウンドの場合	63
6.1b. 9ホールラウンドの場合	64
6.2 プレーイングハンディキャップの計算	65
6.2a. 通常の計算	65
6.2b. パーが異なる複数のティーを使用する競技の場合の計算	65

IV. ハンディキャップインデックスの管理 (規則7) 67

規則7 - 委員会の行動 68

7.1 ハンディキャップ委員会	68
7.1a. ハンディキャップ検証の実施とハンディキャップインデックスの修正	68
7.1b. ペナルティースコアの適用	72
7.1c. ハンディキャップインデックスの停止	74
7.1d. ハンディキャップインデックスの復活	74
7.2 競技を管理する委員会	75
7.2a. 競技の条件	75
7.2b. その他の行動	75

V. 付属規則 77

付属規則A - 権利と責任 78

付属規則B - プレーヤーのスコア記録 84

付属規則C - ハンディキャップアローワンス 90

付属規則D - ハンディキャップ検証 96

付属規則E - ハンディキャップナンバーの割り当て 98

付属規則F - パーの設定 100

付属規則G - ゴルフコース、コースレーティング、スロープレーティング 102

索引 108

序文 - 2020年版ハンディキャップ規則

ゴルフは、世界共通のプレーの規則、世界共通の用具規則、そして世界共通のアマチュア資格規則を持つグローバルなゲームです。既存ハンディキャップシステム運営団体とナショナル協会による密接な協力を経て、このたび世界共通のハンディキャップ規則を全世界のすべてのゴルファーに提供することを、USGA と R&A は嬉しく思います。

世界共通のハンディキャップ規則とコースレーティングシステムを組み込んだワールドハンディキャップシステムの開発構想は、いまから約 10 年前に行われた会議でスタートしました。その会議には、既存ハンディキャップシステムを運営していた USGA、ゴルフ・オーストラリア、英国およびアイルランドのナショナルゴルフ連盟協議会 (CONGU)、ヨーロッパゴルフ協会 (EGA)、南アフリカゴルフ協会 (SAGA)、アルゼンチンゴルフ協会 (AGA) の世界 6 団体、そして R&A が出席。統一ハンディキャップシステムを開発するというコンセプトに対して熱い感心が寄せられ、既存ハンディキャップシステムの包括的な検証が開始しました。

その検証の結果が、本ハンディキャップ規則初版です。これは、USGA、R&A、そして世界中の多くのゴルフ協会による 7 年間にわたる取り組み、とりわけハンディキャップ運営委員会の傑出した努力の成果であり、また世界中のゴルファーとハンディキャップ管理者から寄せられた数多くのフィードバックも反映しています。ワールドハンディキャップシステムの 3 つの主要目的は、(i) できるだけ多くのゴルファーがハンディキャップを取得・維持できるようにすること、(ii) 性別、技量、国籍に関わらず、すべてのゴルファーが世界中のコースにハンディキャップを持ち運び、公平に競い合えるようにすること、そして (iii) 世界中のあらゆるコースを通常のコンディションでプレーした時に、ゴルファーが合理的に達成できるスコアを高精度で示すこと。ハンディキャップ規則が、これら 3 つの目的を満たすものであり、あらゆるゴルファーが公平に使えるものであり、またハンディキャップ管理者が均一に運用できる近代的で適応性のある規則であることを、私達は確信しています。

ハンディキャップ規則は、全世界において USGA と R&A が共同で管轄します。各国におけるハンディキャップの運営管理は、地域レベルでシステムが効果的に運用されるように、引き続きナショナル協会や他の承認された団体に責任が委ねられます。また、ハンディキャップ規則には、地域毎のゴルフ文化の違いに適応するために、いくつかの項目で承認された団体に裁量権を与えています。

これはゴルフというスポーツにとって歴史的な瞬間であり、本プロジェクトに貢献したすべての個人と団体に心から感謝いたします。そして、ワールドハンディキャップシステムの開発にすべてを捧げ、多大なる貢献をした故アラン・ホームズ氏に謝意を表します。

ワールドハンディキャップ機関
委員長
J. Michael Bailey (USGA)

ハンディキャップ運営委員会
委員長
Dr Hans Malmström (The R&A)



ONE STANDARD

優れた伝統は、ゴルフの素晴らしい過去を祝福することから生まれるだけでなく、ゴルフを未来へと導く。ロレックスはUSGAとR&Aと共に、真に時代を超えたスポーツの未来に一員として参加できることを誇りに思う。

#Perpetual

R&A

USGA®


ROLEX

用語の定義

アクティブシーズン (Active Season)

特定地域において、ラウンドが行われた場所を管轄する承認された協会が決定した、採用可能なスコアをハンディキャップ査定のために提出しなければならない期間をいう。

一般のプレー (General Play)

競技は開催されておらず、ゴルファーが以下のようにプレーすることをいう：

- プライベートラウンドをプレーする
- 勝負を競い合うが、委員会が開催する競技ではない

管轄地域 (Jurisdiction)

承認された協会がハンディキャップ規則を管理運用する地理的範囲をいう。

キャップ (Cap)

プレーヤーのローハンディキャップインデックスを基準として、そのプレーヤーのハンディキャップインデックスの増加を抑制または制限する手順をいう。キャップには、次の2つの種類がある：

- ソフトキャップ – ハンディキャップインデックスの増加が規定値を超えた場合、増加割合を抑制する。
- ハードキャップ – ハンディキャップインデックスの増加が規定値を超えた場合、増加上限を適用する。

(規則 5.8 参照)

コースハンディキャップ (Course Handicap)

特定のティーからプレーした時に、プレーヤーが受けたり与えたりするハンディキャップストローク (ハンディキャップアローワンス適用前) をいい、スロープレーティング、およびコースレーティングとパーの差によって決定する (規則 6.1 参照)。

コースレーティング (Course Rating)

スクラッチプレーヤーが、通常のコースコンディションおよび気象条件でプレーした場合の、ゴルフコースの難易度を示す尺度をいう (付属規則 G 参照)。

ゴルフ規則 (Rules of Golf)

全米ゴルフ協会 (USGA) および R&A ルールズリミテッド (R&A) により承認されたゴルフ規則をいう。競技やゴルフコースで委員会が採用した如何なるローカルルールひな型も、これに含む。ハンディキャップ規則においては、ゴルフ規則に関するすべての一般参照は、「障がいを持つプレーヤーのためのゴルフ規則の修正」を含むものとみなすべきである。

ゴルフ倶楽部 (Golf Club)

地域を管轄する承認された協会への所属を通して、その倶楽部を自身のホーム倶楽部に指定しているプレーヤーのハンディキャップインデックスを、ハンディキャップ規則の要件に従って管理および運用することを認められた組織をいう。ゴルフ倶楽部は、承認された協会に所属するために、承認された協会が定める一定の要件を満たすことを義務づけられる場合がある。

ゴルフコース (Golf Course)

ゴルフがプレーされる場所をいい、ゴルフ規則に定義されている次の5つのエリアで構成される：

1. ジェネラルエリア
2. プレーヤーがプレーするホールをスタートするときそこからプレーしなければならないティーイングエリア
3. すべてのペナルティーエリア
4. すべてのバンカー
5. プレーしているホールのパッチンググリーン

各ホールには複数のティーイングエリアが設けられている場合があり、ハンディキャップ査定においては、ゴルフコースは各ホールの指定されたティーで構成される。従って、各ティー (またはゴルフコース) は、必要に応じて性別毎に、それぞれ個別のコースレーティングとスロープレーティングを持つべきである。

採用可能なスコア (Acceptable Score)

承認されたプレー形式によるスコアで、ハンディキャップ規則のすべての定めを満たすものをいう (規則 2 参照)。

承認された協会 (Authorized Association)

全米ゴルフ協会 (USGA) および R&A ルールズリミテッド (R&A) によって定められた体制に基づいて、その管轄地域内においてハンディキャップ規則を施行および管理し、統括する組織に委任された責任を遂行することを承認された団体をいう。この団体は、マルチナショナル協会、ナショナル協会、または地区協会 (または連盟) でなければならない。

承認されたプレー形式 (Authorized Format of Play)

ラウンドが行われた場所を管轄する承認された協会が決定した、ハンディキャップ査定に採用可能なプレー形式をいう (規則 2.1a 参照)。

スクラッチプレーヤー (Scratch Player)

ハンディキャップインデックス 0.0 のプレーヤーをいう。

スコア記録 (Scoring Record)

プレーヤーの採用可能なスコアの履歴と、以下の情報を記録したもの:

- プレーヤーの最新のハンディキャップインデックス
- プレーヤーのローハンディキャップインデックス
- ラウンドに関するその他の詳細 (プレー日など)
- 適用される調整 (例外的なスコアによる調整など)

(付属規則 B 参照)

スコア相互検証 (Peer Review)

スコアまたはハンディキャップインデックスを確認したり異議を申し立てる手順をいう (規則 4.4 参照)。

スコアタイプ (Score Type)

プレーヤーのスコア記録内で表示する、採用可能なスコアの種別指定 (付属規則 B 参照)。

スコアディファレンシャル (Score Differential)

プレーヤーの調整グロススコアとコースレーティングの差に、スロープレーティングとプレーイングコンディション計算を反映したものをいう。これは、特定のゴルフコースで特定の日にプレーされた数値としてプレーヤーのスコア記録に登録される。スコアディファレンシャルは、18 ホールの数値または算出された 18 ホール相当の数値でなければならない (規則 5.1 参照)。

スコアの証明 (Certification of Score)

次のいずれかの方法でプレーヤーのスコアを立証することをいう:

- マーカーによる署名または電子認証
- **スコア相互検証**

(規則 4.4 参照)

スロープレーティング (Slope Rating)

スクラッチプレーヤー以外のプレーヤーにとってのゴルフコースの難易度を、スクラッチプレーヤーにとっての難易度と比較して示したものをいう (付属規則 G 参照)。

ソフトキャップ (Soft Cap) (「キャップ」の項参照)

調整グロススコア (Adjusted Gross Score)

プレーヤーのグロススコア (罰打を含む) に、次の場合の調整を適用したものをいう:

- プレーヤーが自身のホールスコア上限を超えた場合
- プレーしなかったホールがある場合
- スタートしたがホールアウトしなかったホールがある場合

(規則 3 参照)

ネットダブルボギー (Net Double Bogey)

そのホールのパーに 2 打を足したものを、そのホールに適用されるハンディキャップストロークで調整したスコアをいう。ネットダブルボギーは、ハンディキャップ査定のためのプレーヤーの 1 ホールのスコア上限である (規則 3.1 参照)。

ネットパー (Net Par)

そのホールのパーを、そのホールに適用されるハンディキャップストロークで調整したスコアをいう (規則 3.2 参照)。

パー (Par)

通常のコースコンディションおよび気象条件で、一般的にスクラッチプレーヤーが各ホールで達成すると予測されるスコアをいう。その際、パッティンググリーン上で 2 打を費やすものとする (付属規則 F 参照)。承認された協会、またはナショナル協会の裁量で認められたゴルフ倶楽部は、パーの適正な設定に責任を持つ (付属規則 A 参照)。

ハードキャップ (Hard Cap) (「キャップ」の項参照)

ハンディキャップアローワンス (Handicap Allowance)

特定のプレー形式において、参加するすべてのプレーヤーに公平性をもたらすために、推奨するコースハンディキャップの適用率をいう (付属規則 C 参照)。

ハンディキャップ委員会 (Handicap Committee)

ゴルフ倶楽部または承認された協会が設立した組織をいい、ハンディキャップ規則によって定められたゴルフ倶楽部または承認された協会の義務を遵守することに責任を持つ (規則 1.3 および付属規則 A 参照)。

ハンディキャップインデックス (Handicap Index)

プレーヤーの実証された技量を、標準難易度のゴルフコース (スロープレーティング 113 のコース) を基準として示した尺度をいう (規則 5.2 参照)。

ハンディキャップ規則 (Rules of Handicapping)

全米ゴルフ協会 (USGA) および R&A ルールズリミテッド (R&A) により承認され、承認された協会によりその管轄地域内で管理運用されるハンディキャップ規則をいう。

ハンディキャップ検証 (Handicap Review)

ハンディキャップ委員会が、そのゴルフ倶楽部を自身のホーム倶楽部として指定したメンバーのハンディキャップインデックスを、修正する必要があるか否かを決定するために実施する手続きをいう (規則 7.1b および付属規則 D 参照)。

ハンディキャップナンバー (Stroke Index)

ゴルフコースの各ホールに割り当てられる数値で、どこでハンディキャップストロークを与えたり受けたりするかを示すものをいう (付属規則 E 参照)。

非アクティブシーズン (Inactive Season)

特定地域において、ラウンドが行われた場所を管轄する承認された協会が決定した、ハンディキャップ査定のためにスコアを提出できない期間をいう。

プレーイングコンディション計算 (PCC)

プレー当日のコンディションが通常のプレーイングコンディションと大きく異なり、プレーヤーのパフォーマンスに著しい影響を与えたかどうかを決定するために用いる統計計算をいう。プレーヤーのパフォーマンスに影響を与える可能性のあるコンディションは、以下の例を含む:

- コースコンディション
- 気象条件
- コースセッティング

(規則 5.6 参照)

プレーイングハンディキャップ (Playing Handicap)

コースハンディキャップをハンディキャップアローワンスまたは競技の条件によって調整したものをいい、ラウンド中にプレーヤーが受けたり与えたりする実際のハンディキャップストロークを表す (規則 6.2 参照)。

ペナルティスコア (Penalty Score)

採用可能なスコアを提出していないプレーヤーに対して、必要に応じてハンディキャップ委員会が自らの裁量で提出するスコアをいう (規則 7.1b 参照)。

ホーム倶楽部 (Home Club)

プレーヤーが、ハンディキャップ規則に従って自身のハンディキャップインデックスを管理する倶楽部として指定したゴルフ倶楽部をいう。

ボギープレーヤー (Bogey Player)

ハンディキャップインデックス 20.0 前後の男子プレーヤー、およびハンディキャップインデックス 24.0 前後の女子プレーヤーをいう。

メンバー (Member)

倶楽部の方針によって決められた方法でゴルフ倶楽部に所属し、その倶楽部を通してハンディキャップインデックスの取得を認められたプレーヤーをいう。

最も可能性の高いスコア (Most Likely Score)

スタートしたがホールアウトしなかったホールにおいて、プレーヤーがハンディキャップ査定のために記入するスコアをいう (規則 3.3 参照)。

例外的なスコア (Exceptional Score)

ラウンド当日におけるプレーヤーのハンディキャップインデックスより、7.0 打以上少ないスコアディファレンシャルをいう (規則 5.9 参照)。

ローハンディキャップインデックス (Low Handicap Index)

プレーヤーのスコア記録に登録されている最新のスコアがプレーされた日から起算して、過去 365 日間 (1 年間) におけるプレーヤーの最少ハンディキャップインデックスをいう (規則 5.7 参照)。

I

ハンディキャップの基礎

規則 1



規則
1目的と承認；ハンディキャップ
インデックスの取得

1.1 ワールドハンディキャップシステムの目的

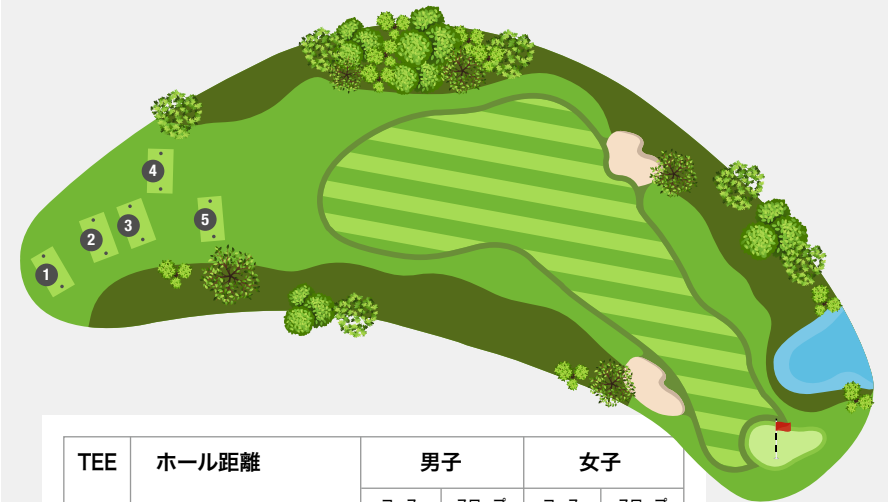
ワールドハンディキャップシステムは、ハンディキャップ規則とコースレーティングシステムによって構成される。その目的は、ゴルフゲームの楽しさをより一層高め、できるだけ多くのゴルファーに次の機会を提供することである：

- ハンディキャップインデックスを取得し、維持する。
- 世界中のあらゆるゴルフコースでハンディキャップインデックスを使用する。
- 誰とでも公平且つ公正に、競技やプライベートラウンドを楽しむ。

このことは、以下によって達成される：

- 各ティーに距離とプレー難易度に基づいてコースレーティングとスロープレーティングを査定する (図 1.1 参照)。
- プレーするゴルフコースおよびプレー形式を反映したハンディキャップインデックスの調整を適用する。
- 特定の日のプレーヤー達のスコアを使用して、プレーイングコンディションによる影響を評価し、必要に応じて調整を適用する。
- ハンディキャップインデックスがプレーヤーの実証された技量を常に反映するよう、ハンディキャップ査定のためのホールスコアの上限を設ける。
- 提出されたすべての採用可能なスコアに、ハンディキャップインデックスを更新するための均一な計算を適用する。
- ハンディキャップインデックスを日々または速やかに更新する。
- ハンディキャップインデックスがプレーヤーの実証された技量を常に反映するよう、定期的にハンディキャップインデックスの検証を実施する。

図 1.1：各ティーに査定されたコースレーティングとスロープレーティング



TEE	ホール距離	男子		女子	
		コースレーティング	スロープレーティング	コースレーティング	スロープレーティング
①	6,657 yds (6,087m)	72.4	132	78.1	135
②	6,371 yds (5,826m)	70.9	129	76.5	132
③	5,906 yds (5,400m)	68.5	126	73.7	130
④	5,433 yds (4,968m)	66.2	118	71.2	122
⑤	4,862 yds (4,446m)	63.4	107	67.2	111

1.2 ワールドハンディキャップシステムの使用承認

ワールドハンディキャップシステムを使用するためには、協会は USGA および R&A の承認を受けなければならない。承認された協会は、その管轄地域内において以下が認められる：

- ハンディキャップ規則とコースレーティングシステムの使用
- ワールドハンディキャップシステムの登録商標類の使用
- ハンディキャップインデックスの発行（直接またはゴルフクラブを通して）
- コースレーティングとスロープレーティングの発行

次の商標類は、USGA と R&A が所有権とライセンス権を保有し、無断複製転用を禁ずる：

ワールドハンディキャップシステム™、WHS™、ハンディキャップインデックス®、スコアディファレンシャル™、ローハンディキャップインデックス™、コースハンディキャップ™、プレーイングハンディキャップ™、コースレーティング™、ボギーレーティング™、スロープレーティング™。

ワールドハンディキャップシステムの使用承認を受けていない団体は、これらの商標類やワールドハンディキャップシステムの一部を使用してはならない。これには、コースレーティングシステムおよびハンディキャップ計算式を含むが、その団体が承認された協会を通してゴルフクラブにハンディキャップに関する商品やサービスを提供している場合を除く。

1.3 プレーヤー、ハンディキャップ委員会、承認された協会の責任

プレーヤー、ハンディキャップ委員会、および承認された協会（これらを総称してステークホルダーという）は、ハンディキャップ規則を適切に運用・管理するための重要な役割を担う。

各主要ステークホルダーの主な責任は以下の通り：

(i) プレーヤー

プレーヤーは以下を行うことが期待される：

- ハンディキャップ規則を遵守することによって誠実に行動し、不当な利益を得ることを目的としてハンディキャップ規則を使用または回避しない。
- 各ホールで最善のスコアを目指してプレーする。
- ラウンド終了後できるだけ速やかに、および現地時間の深夜零時までに、ハンディキャップ査定のために採用可能なスコアを提出する。
- 自身の実証された技量を合理的に裏付けるために、採用可能なスコアを提出する。
- ゴルフ規則に従ってプレーする。
- ゴルファー仲間のスコアをアテストまたは検証する。

(ii) ゴルフクラブ / ハンディキャップ委員会

- ゴルフクラブは、その地域の承認された協会に所属し、そのクラブをホームクラブに指定したメンバーのハンディキャップインデックスをハンディキャップ規則の要件に従って管理する責任を持つ。
- ハンディキャップ委員会は、ゴルフクラブが設立し、ハンディキャップ規則が定めるゴルフクラブの義務と責任を遵守することに責任を持つ。
- ナショナル協会がプレーヤーのハンディキャップインデックスを直接管理、運用する場合、ナショナル協会はゴルフクラブとしての責任も負う。

(iii) 地区ゴルフ協会

- 地区ゴルフ協会は、その地域のナショナル協会に所属し、定義されたエリアのゴルフクラブおよび／またはゴルファーによって構成される。
- 地区ゴルフ協会は、ワールドハンディキャップシステムの特定の責任を持ち、管轄するナショナル協会から追加の義務を受託することができる。

(iv) ナショナル協会

- 承認されたナショナル協会は、その管轄地域内において、ハンディキャップインデックスの発行を含む、ワールドハンディキャップシステムの運用と管理を行う独占権を持つ。
- ナショナル協会は、ワールドハンディキャップシステムの特定の責任を持ち、マルチナショナル協会から追加の義務を受託することができる。
- 承認されたナショナル協会は、その責任の一部を地区ゴルフ協会またはゴルフクラブに委任することができる。

注：ナショナル協会がプレーヤーのハンディキャップインデックスを直接管理している場合は、ナショナル協会はゴルフクラブの責任も担うものとする。

(v) マルチナショナル協会

- マルチナショナル協会が承認されたハンディキャップ管理団体である場合、そのマルチナショナル協会は、そこに加盟するすべてのナショナル協会を代表して、その管轄地域内において、ワールドハンディキャップシステムの運用と管理を行う独占権を持つ。
- 承認されたマルチナショナル協会は、その権利と責任の一部を管轄地域内のナショナル協会に委任し、マルチナショナル協会に代わってワールドハンディキャップシステムの運用と義務遂行を実施させることができる。

(vi) USGA と R&A

- USGA と R&A は共同で、ハンディキャップ規則とコースレーティングシステムの制定と解釈に責任を持つ。
- USGA と R&A は、ワールドハンディキャップシステムの共同統括組織であり、ワールドハンディキャップシステムの使用認可に責任を持つ。

各主要ステークホルダーの権利と責任に関する詳細は、付属規則 A を参照。

1.4 ハンディキャップインデックスの取得方法

1.4a ゴルフ倶楽部に所属する

ハンディキャップ規則に従って管理できるハンディキャップインデックスを取得するためには、プレーヤーは、次のいずれかでなければならない：

- 承認された協会に所属しているゴルフ倶楽部のメンバー
- ゴルフ倶楽部の責任を持つとみなされる承認された協会に直接所属するメンバー (規則 1.3(ii) 参照)

またプレーヤーは、ハンディキャップインデックスを取得または維持するためにスコアを提出することにより、自身のスコア記録が必要に応じて次の目的で使用されることを認識するものとする：

- スコア相互検証 (規則 4.4 参照)
- ハンディキャップインデックスの発行
- 管理および調査目的

規則1.4aの解釈：

1.4a/1 - プロゴルファーはハンディキャップインデックスを取得できるか？

ハンディキャップ規則に明記されているプレーヤーの責任をすべて満たすことを条件として、プロゴルファーもハンディキャップインデックスを取得することができる。

1.4b ホーム倶楽部を指定する

プレーヤーは、1 箇所以上のゴルフ倶楽部を、自身のハンディキャップインデックスの管理責任を負うホーム倶楽部に指定しなければならない。

但し、プレーヤーがメンバーであるすべてのゴルフ倶楽部は、ホーム倶楽部と情報を共有することができ、それによりホーム倶楽部がプレーヤーのハンディキャップインデックスを修正することもある。

プレーヤーが 2 箇所以上のゴルフ倶楽部のメンバーである場合、プレーヤーは各ゴルフ倶楽部が、以下に関する詳細を把握するようにしなければならない：

- プレーヤーがメンバーである他のゴルフ倶楽部
- プレーヤーが自身のホーム倶楽部に指定したゴルフ倶楽部

規則1.4bの解釈：

1.4b/1 - ホーム倶楽部を指定する際の基準

規則 1.4b は、2 箇所以上のゴルフ倶楽部のメンバーであるプレーヤーに対して、そのうち 1 箇所のゴルフ倶楽部を自身のホーム倶楽部に指定することを義務づけている。

プレーヤーは、どのゴルフ倶楽部を自身のホーム倶楽部に指定するかについて、次の基準のひとつ以上に基づいて決定すべきである：

- 主な居住地との近接度合い
- プレーの頻度
- 自身の採用可能なスコアのほとんどをそのゴルフ倶楽部に提出している

プレーヤーの主な居住地が定期的に変わり、上記の基準が時期によって異なるゴルフ倶楽部に当てはまる場合は、そのプレーヤーはホーム倶楽部を都度変更することを検討すべきである。

プレーヤーは、自身に不当な利益をもたらすハンディキャップインデックスを取得することを目的として、ホーム倶楽部を指定してはならない。

1.4b/2 - プレーヤーがホーム倶楽部を変更する場合

プレーヤーが、何らかの理由で自身のホーム倶楽部指定を変更する場合は、その旨を自身がメンバーであるすべてのゴルフ倶楽部に通知し、新しいホーム倶楽部にスコア記録を提供しなければならない。

1.4b/3 - プレーヤーが異なる管轄地域に所在する複数のゴルフ倶楽部に所属し、2つ以上のハンディキャップインデックスを持つことになった場合

規則 1.1 では、ワールドハンディキャップシステムの目的は、とりわけ、できるだけ多くのゴルファーがひとつのハンディキャップインデックスを取得・維持できるようにすることであると明記されている。

プレーヤーが、自身のホーム倶楽部と異なる管轄地域に所在するゴルフ倶楽部のメンバーである場合、その地域を管轄する承認された協会が発行するハンディキャップインデックスを別途持つことが義務づけられることがある。このような義務は奨励できないが、双方の承認された協会が発行するハンディキャップインデックスが同じになるよう、すべての採用可能なスコアを、ホーム倶楽部および異なる管轄地域に所在するゴルフ倶楽部の両方に提出することは、プレーヤーの責任である。

もし異なる承認された協会が発行するハンディキャップインデックスに相違が生じた場合は、ラウンドが行われる管轄地域のハンディキャップインデックスを使用するべきである。これらの管轄地域以外の場所でプレーする場合は、最も少ないハンディキャップインデックスを使用するべきである。

II

ハンディキャップ査定に 使用するスコア

規則 2~4



規則
2ハンディキャップ査定に採用
可能なスコア

規則の理念:

プレーヤーがハンディキャップ査定のために提出するスコアは、本人のハンディキャップインデックス計算の中核を成す。

規則 2 は、スコアをハンディキャップ査定に採用するために満たさなければならない条件を扱っている。これらの条件により、スコアはプレーヤーの技量の合理的な証明となり、最終的に、実証された技量を反映したハンディキャップインデックスとなる。

2.1 採用可能なスコア

以下のスコアは、ハンディキャップ査定に採用可能である:

- 承認されたプレー形式でプレーされ (規則 2.1a 参照)、9 ホールまたは 18 ホールスコアとしてハンディキャップ査定に採用するための最少ホール数を満たすもの (規則 2.2 参照)
- マーカーとして行動できる最低 1 名以上の他者 (ゴルフ規則のその他の要件を満たすことを条件として) を同伴してプレーしたもの
- ゴルフ規則に従ってプレーしたもの (規則 2.1b 参照)
- 最新のコースレーティングとスロープレーティングを持ち、距離と通常のプレー難易度が一定に維持されているゴルフコースでプレーしたもの (付属規則 G 参照)
- アクティブシーズン中のゴルフコースでプレーしたもの

これに加えて、プレーヤーのスコアは常に、ハンディキャップ規則に従って証明されなければならない (規則 4.4 参照)。

上記の要件が 1 つ以上満たされていない場合、そのスコアはハンディキャップ査定に採用することができない。

規則 2.1 の解釈:

2.1/1 - 委員会が設定した順番通りにホールをプレーしなかった場合でも、そのスコアはハンディキャップ査定に採用できる

ゴルフ規則 5.1 は、ひとつのラウンドは、競技を管理する委員会またはゴルフコースを管理する委員会のいずれかが設定した順番で、ホールをプレーすることを義務づけている。しかしながら、もし委員会が設定したホールの順番通りにラウンドをプレーしなかった場合でも、そのスコアはハンディキャップ査定に採用することができる。

例:

- ゴルフコースが混んでいて、スタートホールを変えることによってプレーのペースが速くなる場合。
- プレーするホールの順番を変えることによって、より多くのプレーヤーがラウンドを終了できるようになる場合。特に日照時間が限られる時期。

2.1/2 - マッチプレー形式とストロークプレー形式を同時にプレーした場合のスコア

マッチプレーの競技に参加しているプレーヤーが同時にストロークプレーのラウンドもプレーし、両方とも承認されたプレー形式である場合、ハンディキャップ査定のために提出すべきスコアは、ストロークプレーのスコアである。マッチプレーのスコアは提出するべきでない。

2.1/3 - 臨時のグリーンやティーを使用した場合の、ハンディキャップ査定のためのスコアの提出

承認された協会は、臨時のコースコンディションでプレーした場合のスコアをハンディキャップ査定に採用できるか否かを決定すべきである。また承認された協会は、一時的な改造を反映するために、コースレーティングとスロープレーティングを一時的に変更する必要があるか否かを決定すべきである (付属規則 G 参照)。

2.1a 承認されたプレー形式でプレーしたスコア

承認されたプレー形式は、以下である：

プレー形式	ラウンドのタイプ	ホール数	
個人ストロークプレー	競技ラウンド	9	18
	一般のプレー	9	18
	ステーブルフォード – 競技ラウンド	9	18
	ステーブルフォード – 一般のプレー	9	18
	パー/ボギー – 競技ラウンド	9	18
	パー/ボギー – 一般のプレー	9	18
	最大スコア – 競技ラウンド	9	18
	最大スコア – 一般のプレー	9	18
フォアボールストロークプレー	競技ラウンド	9	18
	一般のプレー	9	18
	ステーブルフォード – 競技ラウンド	9	18
	ステーブルフォード – 一般のプレー	9	18
	パー/ボギー – 競技ラウンド	9	18
	パー/ボギー – 一般のプレー	9	18
	最大スコア – 競技ラウンド	9	18
	最大スコア – 一般のプレー	9	18
個人マッチプレー	競技ラウンド	9	18
	一般のプレー	9	18
フォアボールマッチプレー	競技ラウンド	9	18
	一般のプレー	9	18

- (i) プレーヤーの管轄地域内でプレーしたラウンドの場合：ハンディキャップ規則が定める他の条項に従うことを条件として、プレーヤーの管轄地域における承認されたプレー形式でプレーした採用可能なスコアは、ハンディキャップ査定のために提出しなければならない（図 2.1a 参照）。
- (ii) プレーヤーの管轄地域以外でプレーしたラウンドの場合：ハンディキャップ規則が定める他の条項に従うことを条件として、以下の通りとする：

- ラウンドが行われた地域における承認されたプレー形式でプレーしたスコアは、たとえそのプレー形式がプレーヤーの管轄地域では承認されていなかったとしても、ハンディキャップ査定に採用できるものとし、提出しなければならない。
- ラウンドが行われた地域における承認されていないプレー形式でプレーしたスコアは、そのプレー形式がプレーヤーの管轄地域では承認されたプレー形式である場合、ハンディキャップ査定に採用できるものとし、提出しなければならない。
- ラウンドが行われた地域およびプレーヤーの管轄地域の両方において承認されていないプレー形式でプレーしたスコアは、ハンディキャップ査定に採用することはできず、プレーヤーのスコア記録に登録してはならない。

（図2.1a参照）

図2.1a：ハンディキャップ査定にスコアを提出する場合

	管轄地域で承認された形式	管轄地域で承認されていない形式
管轄地域以外において承認された形式でプレーしたスコア	✓	✓
管轄地域以外において承認されていない形式でプレーしたスコア	✓	✗

✓ スコアを提出 ✗ 採用できない

規則2.1aの解釈：

2.1a/1 - ハンディキャップ査定に採用できないスコア

いくつかのプレー形式や特定の制限付き競技の条件のもとでプレーされたスコアは、ハンディキャップ査定に採用することができず、プレーヤーのスコア記録に登録してはならない。

次のイラスト図は採用できないスコアの例を示したものだが、すべての例を網羅していないため、スコアの採用可否が不明の場合は、プレーするゴルフ倶楽部または承認された協会に問い合わせることを勧める。



コーチを受けながらコースをプレーした

規則不適合用具を使用した

使用できるクラブの本数や種類が制限されていた

他者によってスコアを証明することができない

必要なホール数をプレーしていない

プレーヤーが自分の球をプレーしていない
例えばスクランブル形式

2.1b ゴルフ規則に従ってプレーしたスコア

ハンディキャップ査定に採用するスコアは、**ゴルフ規則に従ってプレーしたものでなければならず、以下の条件に従う：**

- (i) **競技ラウンド：**プレーヤーが、**ゴルフ規則の違反によって競技失格となったが、この違反がプレーヤーに著しいスコアの利益を与えるものではなかった場合、そのスコアはハンディキャップ査定に採用可能とするべきである。**

プレーヤーが、それ以外の**ゴルフ規則の違反によって競技失格となった場合、そのスコアはハンディキャップ査定に採用できない。**

状況に応じて、最終判断は、委員会の裁量に委ねる。

- (ii) **一般のプレー：**競技が開催されていない時に、プレーヤーが次のいずれかのことを行った場合、そのスコアはハンディキャップ査定に採用できない：

- プレーヤーが**ゴルフ規則に違反し、ゴルフ規則が定める正しい罰を適用しなかった。**
- プレーヤーが**意図的にゴルフ規則を無視した。**

プレーヤーがローカルルールひな型に定められた要件に従ってプレーし、それをコースを管理する委員会が採用していなかった場合、そのスコアはハンディキャップ査定に採用可能とすることができる。委員会が採用したローカルルールに、プレーヤーが違反した場合も、同様の状況が適用される。

ローカルルールに関連してスコアをハンディキャップ査定に採用可能とすることができる状況の例は、以下の場合を含む：

- プレーヤーがストロークと距離に代わる選択肢に従ってプレーしたが、このローカルルールひな型が採用されていなかった場合。
- プレーヤーが距離計測機器を使用した**が、距離計測機器の使用を禁止するローカルルールひな型が採用されていた場合。**

状況に応じて、最終判断は、委員会の裁量に委ねる。

規則2.1bの解釈:

2.1b/1 - プレーヤーが競技失格となったが、著しいスコアの利益を得なかった場合の例

プレーヤーが競技失格となったが、スコア的に著しい利益を得なかった場合は、そのスコアをハンディキャップ査定に採用するか否かの決定権は委員会が持つ。

委員会が、著しいスコアの利益を得なかったとみなす可能性のある状況とは、次の例を含む:

ゴルフ規則	失格の種類	ハンディキャップ査定上の推奨措置
3.3b(1)/(2)	スコアカードの署名を怠った	スコア採用可能
3.3b(2)	スコアカードを迅速に提出しなかった	スコア採用可能
3.3b(3)	スコアカードに記入されたスコアが実際のスコアより少なかった	修正したスコアを採用可能
3.3b(4)	スコアカードに記入されたハンディキャップが多すぎた、または記入されていなかった	ハンディキャップを修正または追加してスコア採用可能

2.1b/2 - プレーヤーが、著しいスコアの利益を受ける可能性のある行動によって競技失格となった場合の例

委員会が、プレーヤーが著しい利益を得たと決定できる状況とは、次の例を含む:

ゴルフ規則	失格の種類	ハンディキャップ査定上の推奨措置
1.3b	複数のプレーヤーが、故意に知っている規則や罰を適用しないことに同意した	スコア採用不可
4.1a	不適合クラブでストロークした	スコア採用不可
4.3a(1)	高低差を計測できる距離計測機器を使用した	スコア採用不可

2.1b/3 - 一般のプレーでゴルフ規則に従ってプレーしなかったホール

一般のプレーでプレーヤーがゴルフ規則に違反し、正しい罰を適用することを故意に怠った場合、そのスコアはハンディキャップ査定に採用すべきでない。但し、状況によっては、個々のホールスコアをネットダブルボギーに調整することによって採用可能なスコアとすることができる。

ハンディキャップ委員会が、そのプレーヤーが不当なスコアの利益を得るためにネットダブルボギー調整を使用したと判断した場合、ハンディキャップ委員会は、ハンディキャップ規則の規則 7 に基づく行動をとらなければならない。

2.2 採用可能なスコアの最少ホール数

2.2a 18ホールスコアの場合

18 ホールスコアをハンディキャップ査定に採用するためには、最少 14 ホールをプレーしなければならない。

プレーしたホール数が、9 ホールを超えるが、14 ホールに満たない場合は、そのスコアは 9 ホールの採用可能なスコアとして提出しなければならない。余剰ホールのスコアは破棄する。

注:

1. 採用可能な 9 ホールスコアは、最新のコースレーティングとスロープレーティングを持つ 9 ホールでプレーされたものでなければならない(規則 2.1 参照)。
2. 余剰ホールを破棄した 9 ホールスコアは、18 ホールスコアとするために、別の採用可能な 9 ホールスコアと連結しなければならない(規則 5.1b 参照)。

2.2b 9ホールスコアの場合

9 ホールスコアをハンディキャップ査定に採用するためには、最少 7 ホールをプレーしなければならない。9 ホールスコアとして必要な最少ホール数に満たないスコアは、ハンディキャップ査定に採用できない。

プレーしたホールが、9 ホールを超えるが、18 ホールスコアとして採用するために必要な最少ホール数に満たない場合は、そのスコアは 9 ホールスコアとして提出しなければならない。余剰ホールのスコアは破棄する。

ホールをスタートすれば、そのホールはプレーしたものとみなす。

注:

1. 採用可能な 9 ホールスコアは、最新のコースレーティングとスロープレーティングを持つ 9 ホールでプレーされたものでなければならない(規則 2.1 参照)。
2. 余剰ホールを破棄した 9 ホールスコアは、18 ホールスコアとするために、別の採用可能な 9 ホールスコアと連結しなければならない(規則 5.1b 参照)。

規則

3

ホールスコアの調整

規則の理念:

ハンディキャップ査定のために提出するスコアは、プレーヤーの実証された技量を反映していない稀な悪いホールスコアの影響を過度に受けるべきでない。またこれに加えて、プレーヤーが毎ホールで自分の球をホールアウトしなかった場合のスコアも、プレーヤーの技量を合理的に証明することができ、ハンディキャップ査定に使用することができる。

規則 3 は、スコアをハンディキャップ査定に採用できる状況、およびホールスコアをどのように調整すべきかを扱っている。

3.1 ハンディキャップ査定のためのホールスコアの上限

3.1a ハンディキャップインデックス取得前

初回ハンディキャップインデックスを取得するためにプレーヤーが提出するスコアは、各ホールの上限スコアを パー + 5 打とする (図 3.1a 参照)。

図3.1a: ハンディキャップ未取得の場合のホールスコア上限

Name: *John Smith* Handicap: 未取得 Date: 01/07/20

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
パー	4	3	4	3	4	5	4	4	4	35
スコア	6	7	6	5	7	12	6	7	7	63

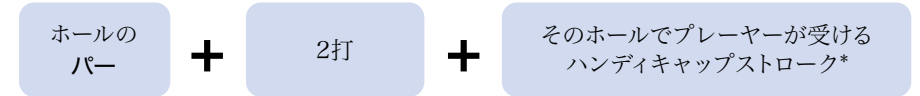
← グロススコア

← HDCP査定のための調整 gross score

↑
ホールスコアの上限 = パー + 5

3.1b ハンディキャップインデックス取得後

ハンディキャップインデックスを持っているプレーヤーの場合、各ホールの上限スコアはネットダブルボギーとし、次の方法で計算する:



(* プラスハンディキャップのプレーヤーは、与えるハンディキャップストロークを引く)

(図 3.1b 参照)

- ステープルフォード形式では、ネットダブルボギーはホールの最少スコアに等しい (0 ポイント)
- 1 ラウンドでネットダブルボギーを適用するホールの数に制限はない
- 競技の条件 (規則 7.2 参照) またはハンディキャップアローワンスにより、受けるハンディキャップストローク数が制限される場合は、この制限を適用したプレーイングハンディキャップは、競技会で以下を決定する目的のみに使用すべきである:
 - 順位および表彰者
 - プレー形式に応じた、競技で受けたり与えたりするハンディキャップストローク数
- ネットダブルボギー調整に使用するコースハンディキャップは、制限が加わっていないそのプレーヤーのフルコースハンディキャップとすべきである。その際、コースハンディキャップは端数を四捨五入した整数とする (規則 6.1a, 6.1b 参照)。
- 算出したコースハンディキャップが 54 を超え、プレーヤーが 1 ホールで受けるハンディキャップストロークが 4 打以上となる場合、ハンディキャップ査定のためのホールスコア上限は、パー + 5 打とする。
- ホールスコアのネットダブルボギー調整は、次のいずれかの方法で適用することができる:
 - ホール・バイ・ホールのスコアを提出している場合は、自動適用
 - 1 ラウンドの調整 gross score 合計を提出している場合は、プレーヤーが適用

図3.1b：ホールスコア上限のためのネットダブルボギー調整の適用方法

Name: Jane Smith Handicap: 16 Date: 12/09/20

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out
パー	4	4	4	3	4	5	3	4	4	35
HDCP ナンバー	7	13	3	15	11	1	17	5	9	
スコア	5	5	6	4	5	5	3	5	5	43

✓ = ストロークを受けるホール

ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	TOTAL
パー	3	4	5	3	4	5	3	4	4	35	70
HDCP ナンバー	18	12	4	14	8	2	16	6	10		
スコア	3	4	6	4	5	5	3	9	6	45	88

グロススコア

HDCP 査定のための調整グロススコア

グロスのホールスコア

ネットダブルボギー



3.2 プレーしなかったホール

以下の例のように、様々な状況で、ラウンドが終了せず、いくつかのホールがプレーされない場合がある：

- 日没または悪天候
- プレーヤーの怪我または病気
- 最終ホールに到達する前にマッチが終了した場合

- コース管理または改造のために、そのホールを使用しないことを委員会が宣言した場合

この場合のスコアをハンディキャップ査定に採用できるのは、とりわけ、プレーしたホール数が9ホールまたは18ホールスコアとして採用するために必要な最少ホール数を満たしている場合に限られる(規則 2.1 および 2.2 参照)。

最少ホール数をプレーしており、且つそのホールをプレーしなかった正当な理由が存在する場合、プレーヤーは以下の手順に従って、そのスコアを9ホールスコアまたは18ホールスコアとして提出しなければならない。

プレーしたホール数	スケールアップ	プレーしなかったホールのスコア
最少7ホール	9ホールスコアにスケールアップ	各ホール・ネットパー (または同等のステーブルフォードポイント)
最少14ホール	18ホールスコアにスケールアップ	各ホール・ネットパー (または同等のステーブルフォードポイント)

プレーヤーがホールをプレーしなかった理由が正当ではないとみなされた場合は、ハンディキャップ委員会ではペナルティスコアの適用を検討することができる(規則 7.1b 参照)。

注：

1. すべてのネットパーを適用する際には、制限が加わっていないそのプレーヤーのフルコースハンディキャップを使用すべきである。その際、コースハンディキャップは端数を四捨五入した整数とする(規則 6.1a/b 参照)。
2. 委員会による別途の定めがない限り、プラスプレーイングハンディキャップのプレーヤーは、ハンディキャップナンバー 18 のホールから逆順でハンディキャップストロークを与える。従って、プレーイングハンディキャップ+3のプレーヤーは、ハンディキャップナンバー 18、17、16 のホールでハンディキャップストロークを与える。

各ホールのネットパーは、以下の例のように、そのホールのパーから、与えるハンディキャップストロークを引くことにより算出する：

そのホールのパー	-	与えるハンディキャップストローク	=	そのホールのネットパー
4		1		3

すべてのホールが終了する前に競技の結果が決定し、プレーヤーが残りのホールをプレーすることを決めた場合、これらの残りのホールは実際のスコアを記録しなければならない。

規則3.2の解釈:

3.2/1 - 不当な理由でホールをプレーしなかった場合

規則 3.2 は、採用可能なスコアをハンディキャップ査定に提出するために、正当な理由でプレーしなかったホールに記入するスコアについて述べている。

もし、不当な理由でプレーヤーがホールをプレーしなかったと判断された場合は、そのスコアはハンディキャップ査定に採用できない。不当な理由とは、以下の例を含むが、これらに限定されない:

- ゴルフコースの特定のホールの難易度が通常高く、悪いスコアを出すことが多いことをプレーヤーが知っているために、そのホールをプレーしなかった。
- 良いスコアまたは悪いスコアを提出することを避けるために、ゴルフコースの最終数ホールをプレーしなかった。

いずれの場合も、プレーヤーの行動が不当なスコアの利益を得ることを目的としているとハンディキャップ委員会が判断した場合、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーのスコア記録にペナルティスコアを追加することができる(規則 7.1b 参照)。

3.2/2 - プレーしなかったホールの指定

提出するスコアにプレーしなかったホールが含まれている場合、プレーヤーはそのことを提出時に指定しなければならない(付属規則 B、注 5 参照)。これは、例えば 9 ホールスコアのスコアディファレンシャル計算(規則 5.1b 参照)や異常なプレーイングコンディションによる調整計算(規則 5.6 参照)など、ハンディキャップ規則に定められているすべての手順が正しく実施されるようにするためである。

ホール・バイ・ホールのスコア提出が義務づけられている場合は、プレーヤーは、プレーしなかった各ホールに指定を加えるべきである。

3.3 スタートしたがホールアウトしなかったホール

以下の例のように、様々な状況で、ホールをスタートしたがホールアウトしない場合がある:

- そのホールの結果が既に決まっている場合
- そのホールがマッチプレーでコンシードされた場合
- フォアボール競技でパートナーの一方が先に良いスコアで終了したために、他方のパートナーが自分の球を拾い上げた場合

- プレーヤーが、既にそのホールのネットダブルボギーに達している場合

プレーヤーが、ホールをスタートしたが、正当な理由によりホールアウトしなかった場合、ハンディキャップ規則の他の条項に従うことを条件として、プレーヤーはその状況とプレー形式に適切な最も可能性の高いスコアとネットダブルボギーのいずれか少ない方を記入しなければならない。

最も可能性の高いスコアとは、以下を合計したものである:

- そのホールで実際に費やしたストローク数
- その位置からホールを終了するために必要と思われる、最も可能性の高いストローク数
- そのホールのプレー中に発生した罰打

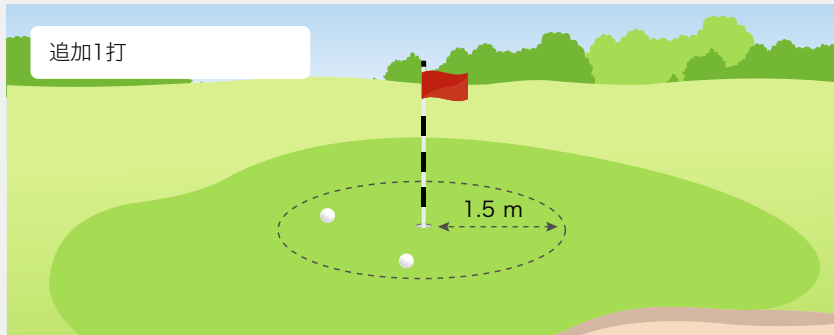
最も可能性の高いスコアは、いかなるホールにおいても、次のガイドラインに従って決定すべきである:

球の位置	加えるストローク数
球がグリーン上にあり、ホールまでの距離が1.5メートル以内の場合	1打
球の位置からホールまでの距離が、1.5～20メートルの場合	球の位置、グリーンの難易度、およびプレーヤーの技量に応じて、2打または3打
球の位置からホールまでの距離が20メートルを超える場合	球の位置、グリーンの難易度、およびプレーヤーの技量に応じて、3打または4打

(図 3.3 参照)。

図3.3：スタートしたがホールアウトしなかったホールの最も可能性の高いスコア

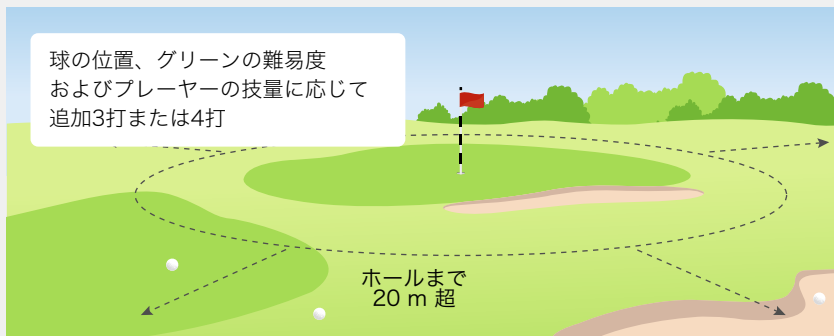
▼ 球がグリーン上にあり、ホールまでの距離が1.5メートル以内の場合



▼ 球からホールまでの距離が1.5～20メートルの場合



▼ 球からホールまでの距離が20メートルを超える場合



注：

1. ホールアウトしなかったことが正当な理由によるものであり、且つ不当なスコアの利益を得ることが目的ではないことを条件として、プレーヤーの調整グロススコアを含むことができる最も可能性の高いスコアの数に制限はない。
2. ハンディキャップインデックス取得済みのプレーヤーの場合は、ハンディキャップ査定目的においては、いかなるホールにおいても、最も可能性の高いスコアはネットダブルボギーを超えることはできない。
3. 初回ハンディキャップインデックス取得のためにスコアを提出するプレーヤーの場合は、いかなるホールにおいても、最も可能性の高いスコアはパー+5打を超えることはできない。
4. ストロークプレーの最大スコアのプレー形式においては、プレーヤーが自身のネットダブルボギーに到達する前に、競技の条件で定められた最大スコアに到達することがあり得る。そのような場合、プレーヤーはそのホールに、最も可能性の高いスコアとネットダブルボギーのいずれか少ない方のスコアを記入すべきである（ゴルフ規則 21.2 参照）。

規則3.3の解釈：

3.3/1 – 最も可能性の高いスコアの意味、およびそれをいつ使うべきかについて

最も可能性の高いスコアは、プレーヤーがホールをスタートしたがホールアウトしなかった場合に、そのホールの想定スコアを記入するために使用する。これは、そのホールを終了するために必要なストローク数を合理的に評価したものであるべきである。

例えば、フォアボールマッチプレー競技において、パートナーがグリーンの外から第3打をカップインさせた。プレーヤーは4打目でホールまで5メートルの位置に付けていたが、このサイドのスコアはこれ以上良くならない。この場合、時間を節約するため、プレーヤーは球を拾い上げ、ハンディキャップ査定のために最も可能性の高いスコアを記入することができる。

最も可能性の高いスコアのガイドラインに基づいて、このプレーヤーはハンディキャップ査定のために、このホールのスコアを6または7と記入する（そこまで費やした4打に2打または3打を追加）。

規則
4

スコアの提出

規則の理念:

規則 4 は、ハンディキャップインデックスの初回取得、および取得済みハンディキャップインデックス維持のために、ハンディキャップ査定に採用可能なスコアを提出する手順を扱っている。

プレーヤー本人またはプレーヤーから委任された者がスコアを適時提出することにより、プレーヤーのゴルフ技量がリアルタイムに更新される。

また本規則は、プレーヤーが採用可能なスコアとともに提出を義務づけられる情報、およびスコアの証明方法について説明している。

4.1 スコア記録への登録が必要な情報

4.1a 通則

- (i) プレーヤーのスコア記録に登録するスコアは、以下でなければならない:
- 採用可能なスコア (規則 2.1 参照)
 - ラウンドがプレーされた日の翌日以降にスコアが提出された場合を含み、正しい時系列順に登録する
- (ii) スコアは、承認された協会が定める形式で提出すべきであり、これはホール・バイ・ホールのスコア (強く推奨)、調整グロススコア、またはステーブルフォードポイントの形式とすることができる。
- (iii) プレーヤーは、ラウンド終了後、以下の情報が自身のスコア記録に含まれるようにハンディキャップ委員会に提出すべきである。
- プレー日
 - 使用したティーのコースレーティングとスロープレーティング
 - 必要に応じて、各ホールのパーとハンディキャップナンバー
- この情報は一般的にスコアカードに記載されている。

- (iv) ハンディキャップ委員会は、提出されたスコアができるだけ速やかにプレーヤーのスコア記録に登録されるようにするべきである。
- (v) 上記 (iii) に明記された情報に加えて、ラウンドがプレーされた日の翌日以降に提出されたスコアにも、プレーイングコンディション計算を適用するべきである (規則 5.6 参照)。

(スコア記録の参考例は付属規則 B を参照)

規則4.1aの解釈:

4.1a/1 - スコアカードに記載されているパーが、スコア提出用端末に登録されているパーと異なる場合

パーの裁定に関する責任は、承認された協会、またはナショナル協会の裁量でゴルフ倶楽部が持つ。プレーヤーがハンディキャップ査定のために調整されたホールスコアの提出を義務づけられていて、プレーしたゴルフコースの正しいパー数値が不明の場合には、プレーヤーはハンディキャップ査定のためにスコアを提出する前に、正しいパーの数値を確認すべきである。

4.1b ハンディキャップインデックス取得前のスコアの場合

初回ハンディキャップインデックスを取得するために、ホール・バイ・ホールのスコアを提出することをプレーヤーに義務づける。このことにより、ハンディキャップ委員会は、新規プレーヤーのゴルフ技量をより正確に評価することができる。

プレーヤーのスコア記録に関する詳細は、付属規則 B を参照。

4.2 スコアを提出できる者

採用可能なスコアは、プレーヤー本人、ハンディキャップ委員会、競技を管理する委員会、またはプレーヤーに委任された者が提出しなければならない。

4.3 スコア提出の期限

プレーヤーは、ラウンド終了後、プレー当日中のできるだけ速やかに、および現地時間の深夜零時まで、スコアを提出するべきである。

プレーヤーがプレー当日中にスコアを提出しなかった場合は：

- そのプレーヤーのハンディキャップインデックスは、プレーの翌日に更新されない(規則 5.4 参照)。
- そのスコアは、当日のプレーイングコンディション計算(PCC)に含まれない(規則 5.6 参照)。

そのスコアがプレーヤーのスコア記録に登録された日が、プレー日の翌日以降で既にプレー日の PCC が算出された後だった場合、そのプレーヤーのスコアは PCC に含まれないが、そのプレーヤーのスコアディファレンシャル計算には PCC 調整値を適用するべきである。

スコアが順不同で提出された場合は：

- 正しい時系列順でプレーヤーのスコア記録に登録するべきである。
- 既に公表されているプレーしたゴルフコースの当日の PCC 調整値を、スコアディファレンシャル計算に適用するべきである。
- プレーヤーのハンディキャップインデックスを再計算すべきである。

注：

ハンディキャップ委員会は、繰り返しスコアの適時提出を怠ったプレーヤーに関して調査するべきである(規則 7.1b 参照)。

そのプレーヤーが不当な利益を得るために行動したことを示す証拠が存在しない場合は、介入する期間に提出されたすべてのスコアは、ハンディキャップ査定のために有効とするべきである。

4.4 スコアの証明

ハンディキャップ査定のために提出するスコアは、ラウンド終了後できるだけ速やかにスコア相互検証が受けられるようにしなければならない。スコア相互検証のプロセスを促進するために、以下の手順を実施する：

- プレーヤー、またはプレーヤーに委任された者は、ラウンド終了後できるだけ速やかにスコアを提出しなければならない。
- ハンディキャップ委員会は、提出されたスコアを、できるだけ速やかにプレーヤーのスコア記録に登録するように努める。

規則4.4aの解釈：

4.4/1 – スコアの証明方法としてのスコア相互検証の意味

スコア相互検証とは、通常以下の者によって実施される：

- 同じ組でプレーする者またはそのラウンド中に一緒にいる者、および／または、
- 同じゴルフ倶楽部にプレーヤーとして所属するメンバー。

すべての場合において、これらの者は以下の条件を満たしていなければならない：

- 提出されたスコアを支持したり、提出されたスコアに異常があるプレーヤーに対して異議を申し立てるための合理的根拠を持っている。または、
- プレーヤーの実証された技量に関する知識を持っており、そのプレーヤーに付与されたハンディキャップインデックスを合理的に確認したり異議を申し立てることができる。

異議はプレーヤーに対して申し立てられるものとし、および／またはハンディキャップ委員会に報告して検討を仰ぐ。

スコア相互検証の手順を円滑に実施できるようにするため、プレーヤーのスコア記録はゴルフ倶楽部のその他すべてのメンバーが閲覧できるようにしておかなければならない(付属規則 B 参照)。

4.5 初回ハンディキャップインデックス取得に必要なスコア枚数

初回ハンディキャップインデックスを取得するためには、プレーヤーは最低 54 ホールの採用可能なスコアを提出しなければならない。

III

ハンディキャップ計算と ハンディキャップインデックスの 更新

規則 5~6



規則 5 ハンディキャップインデックスの計算

規則の理念:

ハンディキャップインデックスは、プレーヤーの実証された技量を示すべきであり、必要に応じて、プレーヤーの実証された技量と一致しないスコアも反映する。

規則 5 は、ハンディキャップインデックスの計算手順を扱っており、またプレーヤーのハンディキャップインデックスが本人の技量を常に反映し、すべてのゴルフファーにとって公平性が保ち続けられるようにするために、必要な安全措置を組み込んでいる。この安全措置は、以下の機能を含む:

- プレーが行われた時のコンディションを考慮に入れる。
- 過去の一定期間において実証された技量を記憶しておく。
- 一定期間におけるプレーヤーのハンディキャップインデックスの増加を制限する。
- 例外的なスコアが提出された場合に、プレーヤーのハンディキャップインデックスに追加の調整を適用する。

5.1 スコアディファレンシャルの計算

5.1a 18ホールスコアの場合

18 ホールのスコアディファレンシャルは、次の通り算出し、端数を四捨五入した少数第 1 位の数値で表示する:

$$\text{スコアディファレンシャル} = \frac{(113 \div \text{スロープレーティング})}{\text{調整グロススコア - コースレーティング - PCC調整値}}$$

注:PCC 調整値は- 1.0 ~+ 3.0 の範囲 (規則 5.6 参照)。

5.1b 9ホールスコアの場合

プレーヤーが 9 ホールスコアを提出した場合は、2 つの 9 ホールスコアディファレンシャルを連結して 18 ホール相当のスコアディファレンシャルを生成しなければならない。

9 ホールのスコアディファレンシャルは、プレー当日のプレーイングコンディション計算 (PCC) 調整値の 50% を使用して、次の通り算出する:

$$\text{スコアディファレンシャル} = \frac{(113 \div \text{9ホールスロープレーティング})}{\text{9ホール調整グロススコア - 9ホールコースレーティング - (0.5 \times \text{PCC調整値})}}$$

注:

1. 9 ホールスコアディファレンシャルは、他の 9 ホールスコアディファレンシャルと連結して 18 ホールスコアディファレンシャルが計算されるまで端数処理 (四捨五入) は行わない。
2. 9 ホールコースハンディキャップの計算は規則 6.1b 参照。
3. 18 ホールの PCC 調整値は- 1.0 ~+ 3.0 の範囲 (規則 5.6 参照)。

18 ホールのスコアディファレンシャルは、以下いずれかの方法で生成する:

- 9 ホールスコアディファレンシャルを、既存の 9 ホールスコアディファレンシャルと連結する
- 9 ホールスコアディファレンシャルを、次に提出された 9 ホールスコアディファレンシャルと連結する

注: 連結していない 9 ホールスコアは、スコア記録内の最新 20 枚目のスコアディファレンシャルより古くなった時点で破棄される。

5.1c マイナススコアディファレンシャルの端数処理

調整グロススコアがコースレーティングより小さい場合、算出されるスコアディファレンシャルは負の値となる。このような場合、負の値は以下の例のように、ゼロ (0) 方向に端数処理する。

- 算出されたスコアディファレンシャルが- 1.54 の場合、- 1.5 に端数処理
- 算出されたスコアディファレンシャルが- 1.55 の場合、- 1.5 に端数処理
- 算出されたスコアディファレンシャルが- 1.56 の場合、- 1.6 に端数処理

5.2 ハンディキャップインデックスの計算

5.2a スコア枚数が20枚未満の場合

ハンディキャップインデックスは、スコア記録内に登録されているベストスコアディファレンシャルを使用して算出する。スコア記録内に登録されているスコアディファレンシャルが20枚未満の場合、以下の表を使用して、計算に使用するスコアディファレンシャルの枚数と適用する調整値を決定する。計算結果は、端数を四捨五入した小数第1位の数値で表示する。

スコア記録内に登録されているスコアディファレンシャルの枚数	ハンディキャップインデックス計算に使用するスコアディファレンシャルの枚数	調整値
3	ベスト1枚	-2.0
4	ベスト1枚	-1.0
5	ベスト1枚	0
6	ベスト2枚の平均	-1.0
7~8	ベスト2枚の平均	0
9~11	ベスト3枚の平均	0
12~14	ベスト4枚の平均	0
15~16	ベスト5枚の平均	0
17~18	ベスト6枚の平均	0
19	ベスト7枚の平均	0
20	ベスト8枚の平均	0

初期ハンディキャップインデックスの発行

ハンディキャップ委員会は、プレーヤーの実証された技量に関する追加の証拠に基づいて、プレーヤーの初期ハンディキャップインデックスを上方修正または下方修正することができる(規則 7.1a 参照)。

規則5.2aの解釈:

5.2a/1 - 以前の技量を示す証拠により、プレーヤーの初期ハンディキャップインデックスを修正する場合

プレーヤーが初回ハンディキャップインデックスを取得するためにスコアを3枚提出し、スコアディファレンシャルはそれぞれ15.3、15.2、16.6だった。

その結果、初回ハンディキャップインデックスは次の通り算出された:

最小スコアディファレンシャル	-	調整値	=	初回ハンディキャップインデックス
15.2		2		13.2

このプレーヤーは、長年ゲームから遠ざかっており、最近ゴルフ倶楽部に復帰したばかりだが、かつてジュニアゴルファーとして活躍し、8.0前後のハンディキャップインデックスを保持していたことを、ハンディキャップ委員会は知っていた。

ハンディキャップ委員会は、プレーヤーが過去に実証した技量をより反映させるために、入手可能な証拠に基づいて、算出された初回ハンディキャップインデックスを修正することができる。

5.2a/2 - その後に提出したスコアが著しく予測と異なることにより、プレーヤーの初期ハンディキャップインデックスを修正する場合。

プレーヤーが初回ハンディキャップインデックスを取得するためにスコアを3枚提出し、スコアディファレンシャルはそれぞれ40.7、42.4、36.1だった。

その結果、初回ハンディキャップインデックスは次の通り算出された:

最小スコアディファレンシャル	-	調整値	=	初回ハンディキャップインデックス
36.1		2		34.1

このプレーヤーは、その後さらに3枚のスコアを提出し、スコアディファレンシャルはそれぞれ45.9、43.6、45.0だった。

提出された6枚のスコアを使用し、プレーヤーのハンディキャップインデックスは次の通り算出された:

ベスト2枚のスコアディファレンシャル平均	-	調整値	=	初期ハンディキャップインデックス
38.4		1		37.4

この場合、ハンディキャップ委員会は、算出されたハンディキャップインデックスと提出されたスコアを比較検証し、ハンディキャップインデックスがプレーヤーの技量をより正確に反映するように、調整値「-1」を取り除くべきであると結論付けることができる。

5.2b スコア枚数が20枚の場合

ハンディキャップインデックスは、スコア記録内に登録されているベストスコアディファレンシャルを使用して算出する。スコア記録内に登録されているスコアディファレンシャルが20枚以上の場合、以下の手順に従ってハンディキャップインデックスを算出する：

- 最新20枚のスコアディファレンシャルのうちベスト8枚の平均を算出し（例外的なスコアおよび/または委員会による修正を含む）、端数を四捨五入した小数第1位の数値で表示する。
- ベストスコアディファレンシャル8枚の平均と、ローハンディキャップインデックスの差を算出する。
 - 差が3を超える場合は、ソフトキャップ計算を適用する。
 - ソフトキャップ適用後、差が5を超える場合は、ハードキャップを適用する。

(規則 5.8 参照)

5.2c プラスハンディキャップインデックスの場合

プレーヤーのスコア記録に20枚のスコアディファレンシャルが登録されており、算出されたハンディキャップインデックスがマイナス数値となる場合、これはプラスハンディキャップインデックスを表す。

プレーヤーの初期ハンディキャップインデックス算出値が、ハンディキャップレンジの下限範囲（男女ともに）となる場合、一定レベルを下回るハンディキャップインデックスを発行する前に、ハンディキャップ委員会は、承認された協会が定める手順に従わなければならない（規則 5.2a 参照）。

5.3 ハンディキャップインデックスの上限

プレーヤーに発行できるハンディキャップインデックスの上限は54.0とする。

注：競技を管理する委員会は、エントリーのハンディキャップ上限を設定することができる（規則 7.2 参照）。

5.4 ハンディキャップインデックスの更新頻度

プレーヤーのハンディキャップインデックスは、スコアが提出された翌日、またはその後できるだけ速やかに更新するべきである。

プレーヤーのハンディキャップインデックスが更新される前に新しいラウンドがプレーされる場合は、同一日に複数ラウンドをプレーする場合を含み、現存のハンディキャップインデックスをプレーヤーが使用することを勧める。しかしながら、状況によっては、競技を管理する委員会またはハンディキャップ委員会は、そのプレーヤーが使用すべきプレーイングハンディキャップを決定する権限を持つ（規則 7.2 参照）。

規則5.4の解釈：

5.4/1 - 競技を管理する委員会がプレーヤーのプレーイングハンディキャップを修正できる状況の例

午前中に承認されたプレー形式のラウンドで非常に良いプレーをしたプレーヤーが、同じ日の午後に競技ラウンドをプレーする場合、ハンディキャップインデックスは翌日まで更新されないため、競技を管理する委員会は、そのプレーヤーのプレーイングハンディキャップを修正することを決定できる。

委員会は、そのプレーヤーのプレーイングハンディキャップを修正するか否かを決定する前に、入手可能なすべての情報を考慮すべきである。これには、そのスコアがプレーヤーのハンディキャップインデックスに与えると思われる影響、ハンディキャップインデックスが更新されないことによってプレーヤーが不当な利益を得るかどうか、などの情報も含むものとする。

5.4/2 - できるだけ速やかにスコアを登録することに関するゴルフ倶楽部の責任

プレーヤーのスコアを各日の終わりまでに登録することはゴルフ倶楽部の責任であり、ハンディキャップ規則を正しく運用するためにできるだけ速やかに行わなければならない。できれば深夜零時までに行うことが望ましい。このことは、以下を実施するために重要である：

- ラウンド終了後できるだけ速やかにプレーヤーのハンディキャップインデックスが更新されるようにする（規則 5.4 参照）。
- プレーイングコンディション計算が実行されるようにする（規則 5.6 参照）。
- ゴルファー仲間同士でスコアを検証できるようにする（該当する場合）。
- ハンディキャップ委員会の責任を実行できるようにする（規則 7.1b 参照）。

この責任遂行を怠ると、ハンディキャップ規則の整合性を損なう恐れがある。

5.5 スコアの有効期限とハンディキャップインデックスの失効

登録されたプレーヤーのスコアに含まれる最新 20 枚は、時間の経過に関わらず、ハンディキャップインデックス計算の一部として使用され続ける。

別の 9 ホールスコアと連結するのを待っている 9 ホールスコアは、スコア記録内の 20 番目に古い 18 ホールスコアより古くなった時点で破棄される（該当する場合）。

ハンディキャップインデックスが失効するのは、プレーヤーが最低 1 箇所のゴルフ倶楽部のメンバーではなくなった時だけである。

注：プレーヤーのスコア記録は、できるだけどこでも維持できるようにするべきである。このことにより、プレーヤーが将来的に再びハンディキャップインデックスを取得する際に、ハンディキャップ委員会の助けとなる。

5.6 プレーイングコンディション計算

規則の理念：

コースレーティングは通常のプレーイングコンディションを基準としているが、ゴルフコースの難易度は日々大きく変化する可能性があり、その理由は以下の例が挙げられる：

- コースコンディション
- 気象条件
- コースセッティング

プレーイングコンディション計算 (PCC) は、プレー当日のコンディションが通常のプレーイングコンディションと異なる場合に、それを補う調整が必要かどうかを決定する。これは、プレーヤーが提出した当日のスコアと、想定スコアリングパターンを比較する統計計算手順である。

ハンディキャップ計算における本機能の目的は、難しいプレーイングコンディションで出した平均的なスコアが、より易しいプレーイングコンディションで出した良いスコアより優れている場合があることを認識することである。調整を適用しなければ、このようなスコアがハンディキャップインデックスの計算から除外されてしまう恐れがある。

もし PCC が、提出された採用可能なスコアが想定スコアリングパターンと一致していると判断した場合は、調整は適用されない。

調整は以下の基準で決定する：

- 想定スコアを達成したプレーヤーの数が想定値よりも著しく少なかった場合、結果としてコンディションは通常よりも難しかったと判断する。
- 想定スコアを達成したプレーヤーの数が想定値よりも著しく多かった場合、結果としてコンディションは通常よりも易しかったと判断する。

プレーイングコンディション計算 (PCC) とは：

- 通常、1日に1回のみ計算を実行する。
- ゴルフコースでプレーされた各日の採用可能なスコアに基づいて、調整が必要かどうかを決定する。その際、最低 8 枚以上の採用可能なスコアが必要である。
- 計算に使用するのは、ハンディキャップインデックス 36.0 以下のプレーヤーが提出した採用可能なスコアに限る。
- 提出された採用可能なスコアが 8 枚未満の場合は、調整値はゼロ (0) とする。
- スケールアップした 9 ホールスコアと 18 ホールスコアは計算に含まない（該当する場合）。
- 調整値は、-1.0、0.0、+1.0、+2.0、+3.0 のいずれかで決定することができ、すべてのプレーヤーのスコアディファレンシャル計算に適用する。

規則5.6の解釈：

5.6/1 - プレーイングコンディション計算の実行手順

プレーイングコンディション計算 (PCC) は自動計算で実行され、概要は次の通り：

1. 計算に含まれる各プレーヤーの想定スコアを算出する。
2. 該当するすべてのスロープレーティングを組み込んだ、対象ゴルフコースのスコアディファレンシャルの標準偏差を算出する。
3. 当日に、想定スコアより良いスコアまたは悪いスコアを出したプレーヤーの数を算定する。
4. 想定スコア範囲と同等のスコア、それよりも良いスコア、または悪いスコアを提出したプレーヤーの割合に基づいて、PCC 調整が必要かどうかを決定する。
5. 調整が必要な場合は、そのゴルフコースが当日にどれだけ難しかったか、または易しかったかを決定する。

6. これらの計算に基づいて、当日のプレーに適用する PCC 調整値を最終決定する。
7. PCC 調整値は、整数の値で適用する。

注：

- スコアディファレンシャル計算における PCC 調整値の適用方法については、規則 5.1a (18 ホールスコア)、および規則 5.1b (9 ホールスコア) を参照。
- 9 ホールの採用可能なスコアは、2 倍したものを PCC に使用する。その際、9 ホールスロープレーティングと 2 倍した 9 ホールコースレーティングを使用する。
- 算出された PCC 調整値は、プレー当日に提出されたすべての採用可能なスコアに適用し、また当日にプレーしたが後日提出されたスコアにも遡って適用する。

5.6/2 - 同一日に2回以上のプレーイングコンディション計算を実行できる可能性のある状況

規則 5.6 は、プレーイングコンディション計算 (PCC) は 1 日に 1 回のみ実行することを推奨している。

しかしながら、その日の一部または特定の競技に個別の PCC を実行することが認められる場合がある。例えば、次のような場合である：

- 1 日のなかで極端な天候の違いがある場合。
- その日に開催される競技の参加者の技量が、同一日に一般プレーのラウンドを行うプレーヤーの技量と著しく異なる場合。

5.6/3 - 特定の競技に個別のプレーイングコンディション計算を実行する方法、および同一日の一般プレーのラウンドに適用する調整値

特定の競技に個別のプレーイングコンディション計算 (PCC) を実行する場合は：

- その競技に参加したプレーヤーのスコアのみを使用して、個別の PCC を計算する。
- 個別の PCC で算出された調整値は、その競技に参加したプレーヤーのスコアディファレンシャル計算のみに適用する。
- 同じ日に同じゴルフコースでプレーしたその他すべてのプレーヤーについては、当日のすべての対象スコア (競技に参加したプレーヤーのスコアも含む) を使用して算出した PCC を適用する。

5.6/4 - プレーヤーが同じ日に同じコースで複数ラウンドをプレーし、個別の PCC が実行された場合

同じ日に同じコースで 2 ラウンド以上プレーし、そのうち 1 つ以上のラウンドに個別の PCC が実行された場合は、そのプレーヤーの各スコアディファレンシャル計算に別々の PCC を適用することができる。

5.6/5 - ホーム倶楽部以外の場所でプレーし、そのスコアをホーム倶楽部に提出した場合

プレーヤーが、ホーム倶楽部以外のゴルフコースでプレーし、そのスコアを自身のホーム倶楽部に提出した場合、プレーヤーのハンディキャップインデックスを更新する前に、プレーしたゴルフコースの当日のプレーイングコンディション計算 (PCC) を使用してスコアディファレンシャルを計算するべきである。

5.6/6 - 27ホールのゴルフ倶楽部でプレーイングコンディション計算を実行する場合

あるゴルフ倶楽部には、南コース、東コース、西コースの 3 つの 9 ホールゴルフコースがあり、ゴルファーは、(a) どのゴルフコースでも 9 ホールのプレーが可能で、(b) どの 9 ホールの組み合わせでも 18 ホールのプレーが可能である (南/南、南/東、南/西、東/東、東/西、西/西)。

プレーイングコンディション計算 (PCC) は、コースレーティングとスロープレーティングが査定されている 18 ホールのゴルフコースに対して実行される。

規則 5.6 に明記されているすべての基準を満たす場合は、各組合せの 18 ホール毎に、PCC が毎日実行される。

5.6/7 - 27ホールのゴルフ倶楽部で9ホールしかプレーしなかった場合の、プレーイングコンディション計算の適用

あるゴルフ倶楽部には、南コース、東コース、西コースの 3 つの 9 ホールゴルフコースがあり、ゴルファーは、(a) どのゴルフコースでも 9 ホールのプレーが可能で、(b) どの 9 ホールの組み合わせでも 18 ホールのプレーが可能である (南/南、南/東、南/西、東/東、東/西、西/西)。

プレーヤーが南コースの 9 ホールだけをプレーした場合：

- そのスコアは、南/南、南/東、南/西の各 18 ホールのプレーイングコンディション計算 (PCC) に使用する。
- そのスコアは、プレーした 9 ホールのコースレーティングとスロープレーティングを使用して 2 倍する。

- 規則 5.6 に明記されているすべての基準を満たす場合は、各 18 ホールの組合せに PCC が実行される。
- 南／南の 18 ホールゴルフコースに算出された PCC 調整値の 50% を、プレーヤーのスコアディファレンシャル計算に適用する。
- 南／南の 18 ホールゴルフコースに PCC が実行されなかった場合は、プレーヤーのスコアディファレンシャル計算に PCC 調整値は適用されない。これは、南コースが含まれる他の 18 ホールの組合せで PCC が実行されたとしても同様である。

5.7 ローハンディキャップインデックス

ローハンディキャップインデックスは、スコア記録に登録されている最新のスコアがプレーされた日から起算して、過去 365 日間におけるプレーヤーの実証された技量を表し、最新のハンディキャップインデックスを比較する基準点となる。

- ローハンディキャップインデックスは、プレーヤーのスコア記録に最低 20 枚の採用可能なスコアが登録された時点で設定される。
- ローハンディキャップインデックスが設定されたプレーヤーは、新たな採用可能なスコアが提出される度にローハンディキャップインデックスが再設定され、その数値はプレーヤーのスコア記録に表示されなければならない。
- 新たに設定されたローハンディキャップインデックスは、プレーヤーが次に提出する採用可能なスコアの計算処理に使用される。プレーヤーのローハンディキャップインデックスは、2 つのラウンドの間に 365 日より古くなる場合がある。
- 委員会による修正によってプレーヤーのハンディキャップインデックスが低減された場合、それより少ないハンディキャップインデックスが有効でない限り、修正されたハンディキャップインデックスによってローハンディキャップインデックスを更新する（規則 7.1a 参照）。
- 委員会による修正によってプレーヤーのハンディキャップインデックスが増加された場合、委員会は、修正されたハンディキャップインデックスによってローハンディキャップインデックスを更新することを検討するべきである。

規則 5.7 の解釈：

5.7/1 - プレーヤーのローハンディキャップインデックスが 365 日より古くなる状況

規則 5.7 は、プレーヤーのローハンディキャップインデックスは 2 つのラウンドの間に 365 日より古くなる場合があると定めている。結果として、365 日より古くなったローハンディキャップインデックスは、プレーヤーのハンディキャップインデックスの計算に使用することができる。

例：

2021 年 1 月 1 日にスコアを提出した後、プレーヤーのハンディキャップインデックスは 12.3 と算出された。その時点におけるローハンディキャップインデックスは、2020 年 3 月 1 日に発行された 10.6 である。

そのプレーヤーが、次のスコアを 2021 年 4 月 1 日に提出した際、ハンディキャップインデックスの更新計算で、365 日より古くなったローハンディキャップインデックス 10.6 を使用する。何故なら過去 365 日の期間は、プレーヤーのスコア記録に登録されている最新のスコアがプレーされた 2021 年 1 月 1 日から起算して 2020 年 1 月 1 日までとなるからである。プレーヤーのハンディキャップインデックスが更新された後は、2021 年 4 月 1 日から 2020 年 4 月 1 日までの 365 日間における新しいローハンディキャップインデックスが設定される。

5.7/2 - ローハンディキャップインデックスが現在のハンディキャップインデックスとなる状況

2021 年 4 月 1 日にスコアを提出した後、プレーヤーはしばらくゴルフのプレーから遠ざかっており、次のスコアを提出したのは 2022 年 7 月 1 日だった。この時のハンディキャップインデックス更新計算では、2021 年 4 月 1 日から過去 365 日間のローハンディキャップインデックスを計算の基準点として使用する。

そのプレーヤーが、次のラウンドを 2022 年 8 月 1 日にプレーした。その際、ハンディキャップインデックス更新計算に使用するのは 2022 年 7 月 1 日から過去 365 日間のローハンディキャップインデックスであるが、この期間中に提出されたスコアは、2022 年 7 月 1 日に提出された最新のスコアのみである。従って、この場合は、このプレーヤーの現在のハンディキャップインデックスがローハンディキャップインデックスとなる。

5.8 ハンディキャップインデックスの増加制限

キャップの手順には、次の2つの種類がある：

- (i) **ソフトキャップ**：ソフトキャップは、新たに算出されたプレーヤーのハンディキャップインデックスとローハンディキャップインデックスの差が、3.0打を超えた時に稼働する。

算出されたハンディキャップインデックスの増加幅が3.0打を超える場合、超過分の増加を50%に抑制する。

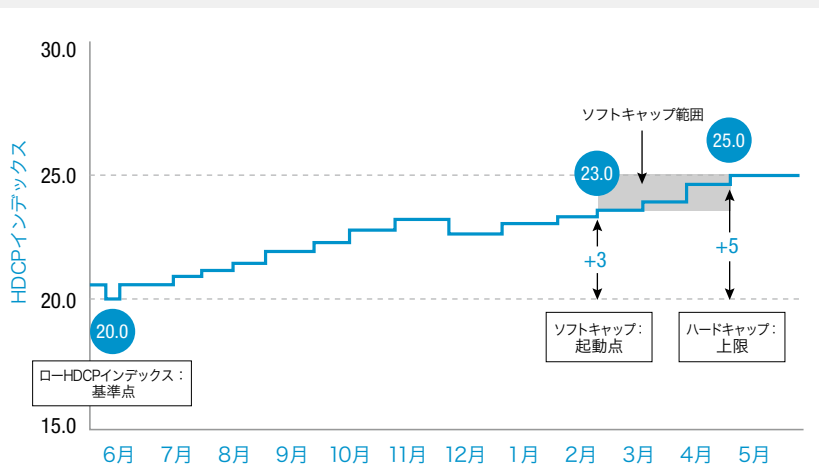
- (ii) **ハードキャップ**：ハードキャップは、ソフトキャップ適用後に、プレーヤーのハンディキャップインデックスがローハンディキャップインデックスより増加できる上限を5.0打に制限する。

プレーヤーのハンディキャップインデックスの低減に制限はない。

ソフトキャップとハードキャップの手順は、プレーヤーのローハンディキャップインデックスが設定された時点で初めて有効となる。

(図 5.8 参照)

図5.8：ソフトキャップとハードキャップ



5.9 例外的なスコアの提出

例外的なスコアがプレーヤーのスコア記録に提出された場合、次の調整表に従ってハンディキャップインデックスを低減する：

スコアディファレンシャルがプレー当日において有効なプレーヤーのハンディキャップインデックスを下回るストローク数	例外的なスコアによる低減調整
7.0～9.9	-1.0
10.0以上	-2.0

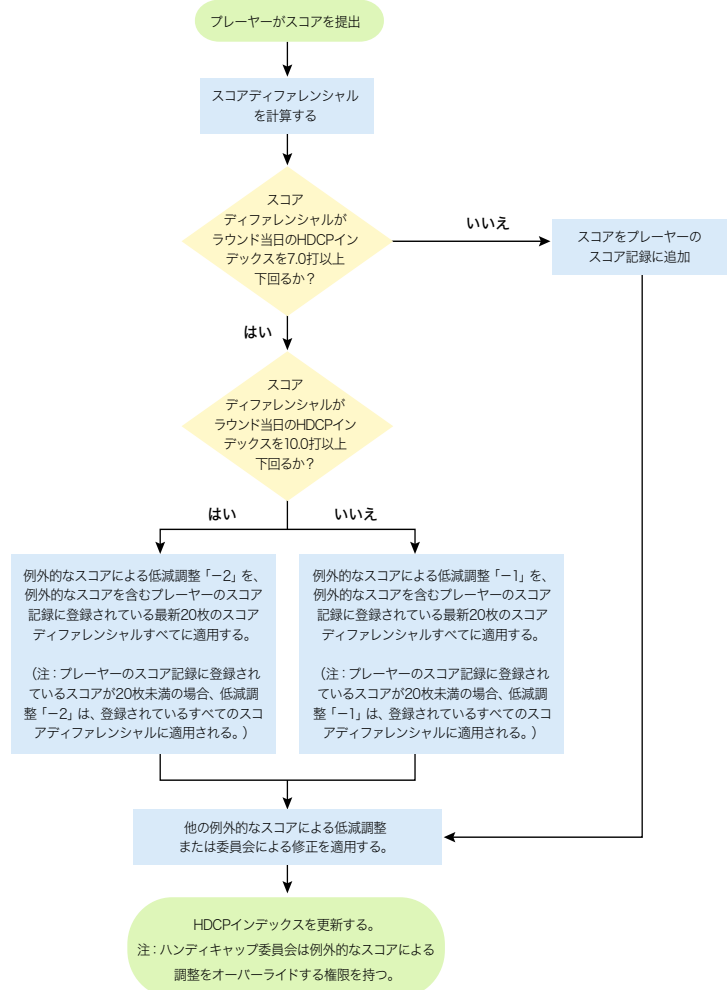
- 低減調整は、例外的なスコア1枚ごとに適用することができる。
- 複数の例外的なスコアによる低減調整は加算適用される。
- 例外的なスコアが提出された場合、低減調整は、プレーヤーのハンディキャップインデックス更新計算の中で自動的に適用される。
- 例外的なスコアによる低減調整は、その例外的なスコアを含むプレーヤーのスコア記録に登録されている最新20枚のスコアディファレンシャルすべてに適用する。その結果、調整の効果は、次のスコアが提出された後も持続し、その後新しいスコアが登録されるに従って徐々に薄まっていく。

例外的なスコアが提出された時点でプレーヤーのスコア記録に登録されているスコアディファレンシャルが20枚未満の場合、低減調整は、その例外的なスコアを含むプレーヤーのスコア記録に登録されたすべてのスコアディファレンシャルに適用する。

- 次の場合、ハンディキャップ委員会が検討できるように、追加のハンディキャップ検証通知を行う：
 - プレーヤーのハンディキャップインデックスに複数の例外的なスコアによる低減が適用されている場合。
 - スコアディファレンシャルが、プレー当日において有効なプレーヤーのハンディキャップインデックスより10打以上下回り、例外的なスコアによる低減「-2.0」が適用されている場合。
- ハンディキャップ委員会は、例外的なスコアによる低減調整を適用するとプレーヤーのハンディキャップインデックスが本人の実証された技量を公平に反映しなくなると判断した場合、例外的なスコアによる低減調整をオーバーライドすることができる(規則 7.1a 参照)。

(図 5.9 参照)

図5.9：例外的なスコアによる調整の適用



規則 6

コースハンディキャップとプレーイングハンディキャップの計算

規則の理念：

コースハンディキャップの計算は、ハンディキャップインデックスを、コースレーティングとスロープレーティングを持つゴルフコースをプレーする際に、プレーヤーが必要とするハンディキャップストローク数に換算するものである。これにより、プレーヤーのハンディキャップインデックスは、どこでプレーしても持ち運び可能となる。プレーイングハンディキャップの計算は、様々なプレー形式において、すべてのハンディキャップレベルのプレーヤーの間で公平性を保つたものである。プレーイングハンディキャップは、プレーヤーのコースハンディキャップに適切なハンディキャップアローワンスを適用することによって算出する。ハンディキャップアローワンス 100% を採用するプレー形式では、プレーイングハンディキャップはコースハンディキャップと同じである。

コースハンディキャップ - ハンディキャップの査定において、コースハンディキャップは、あらゆるゴルフコースでプレーヤーが受ける（または与える）ハンディキャップストローク数を決定するため、並びにネットパーおよびネットダブルボギー調整を正しく適用するために使用される。

プレーイングハンディキャップ - ハンディキャップの運用において、プレーイングハンディキャップの計算は、コースハンディキャップを基に各プレーヤーが受けたり与えたりするハンディキャップストローク数を決定し、すべてのプレーヤーが公平且つ公正にゲームを競い合えるようにする。

6.1 コースハンディキャップの計算

6.1a 18ホールラウンドの場合

18 ホールのコースハンディキャップは、次の計算式で算出する：

$$\text{コース HDICP} = \text{HDICP インデックス} \times \left(\frac{\text{スロープレーティング}}{113} \right) + (\text{コースレーティング} - \text{パー})$$

注：同じ 9 ホールを 2 回プレーする場合の 18 ホールのコースハンディキャップは、次の計算式で算出する：

$$\text{コース HDCP} = \text{HDCP インデックス} \times \left(\frac{9\text{Hスロープレーティング}}{\div 113} \right) + \left(2 \times 9\text{Hコースレーティング} - 2 \times 9\text{Hパー} \right)$$

6.1b 9ホールラウンドの場合

9 ホールのコースハンディキャップは、次の計算式で算出する：

$$\text{コース HDCP} = \left(\frac{\text{HDCP インデックス}}{\div 2} \right) \times \left(\frac{9\text{Hスロープレーティング}}{\div 113} \right) + \left(\frac{9\text{Hコースレーティング}}{- 9\text{Hパー}} \right)$$

(9 ホールラウンドのハンディキャップナンバー割り当てに関しては付属規則 E 参照。)

規則6.1bの解釈：

6.1b/1 - 9ホールのコースハンディキャップは、9ホールのコースレーティングとスロープレーティングを使用して算出する

承認された協会がゴルフ倶楽部にコースレーティングとスロープレーティングを発行する際、以下の例のように、18 ホールのレーティングとともにフロントナインとバックナインのコースレーティングとスロープレーティングも表示する。

	男子・白ティー		女子・白ティー	
	コースレーティング	スロープレーティング	コースレーティング	スロープレーティング
18ホール	73.1	132	75.5	138
1～9番ホール	36.1	132	37.3	135
10～18番ホール	37.0	131	38.2	141

9 ホールのコースハンディキャップの計算は、プレーする 9 ホールゴルフコースの正しいコースレーティングとスロープレーティングを使用しなければならない。

注：算出された 18 ホールおよび 9 ホールのコースハンディキャップは、以下を実施するために端数を四捨五入した整数で使用する：

- ホールスコアの上限(規則 3.1)、およびプレーしなかったホール(規則 3.2)の調整適用
- スコアディファレンシャルの計算(必要に応じて)

上記の計算以外は、コースハンディキャップの算出値はすべて保たれ(端数処理せず)、四捨五入はプレーイングハンディキャップ換算後の 1 回のみとする。

6.2 プレーイングハンディキャップの計算

6.2a 通常の計算

プレーイングハンディキャップは、次の計算式で算出する：

$$\text{プレーイングHDCP} = \text{コースHDCP} \times \text{ハンディキャップアローワンス}$$

算出されたプレーイングハンディキャップは、端数を四捨五入した整数で表示する。

推奨ハンディキャップアローワンスについては、付属規則 C を参照。

6.2b パーが異なる複数のティーを使用する競技の場合の計算

本規則では：

- ストロークプレーは、ネットスコア、グロススコア、または最大スコアのいずれかのプレー形式をいう。
- ステアブルフォードとパー / ボギー形式は、別に扱う。

2 つ以上のティーを使用して競技をプレーする場合(性別や技量の異なるプレーヤーの混合競技の場合)、公平に順位、結果、入賞を決定するために、プレー形式やティー毎のパーの違いに応じて、通常のプレーイングハンディキャップ計算に追加のハンディキャップストロークを適用することができる。

- (i) ストロークプレー形式とマッチプレー形式(グロスまたはネットスコアで結果が記録される場合)：パーの大きいティーを使用するプレーヤーは、そのラウンドで、最もパーの小さいティーとのパーの差と等しいハンディキャップストロークを追加で受けなければならない。

この追加のハンディキャップストロークは、以下の通り、プレーヤーのプレーイングハンディキャップに足す：

$$\text{プレーイング HDCP} = \left(\text{コースHDCP} \times \text{ハンディキャップアローワンス} \right) + \text{パーの差}$$

注：別の方法として、参加者の大部分がパーの大きいティーからプレーする場合は、パーの小さいティーを使用するプレーヤーがそのラウンドで受けるハンディキャップストロークから、パーの差と等しいストロークを差し引くことができる。

- (ii) ストロークプレー形式とマッチプレー形式（対パー数値で結果が記録される場合）：パーに対するそのラウンドのプレーヤーのネットステータス（またはグロスステータス）は直接相互に比較されるため、ティー毎のパーが異なる場合でも、通常のプレーイングハンディキャップ計算に追加するハンディキャップストロークはない。
- (iii) ステーブルフォード形式：そのラウンドの各プレーヤーの合計ステーブルフォードポイントは直接相互に比較されるため、ティー毎のパーが異なる場合でも、通常のプレーイングハンディキャップ計算に追加するハンディキャップストロークはない。
- (iv) パー / ボギー形式：そのラウンドのプレーヤーのパー / ボギー結果は、他のプレーヤーそれぞれと直接比較されるため、ティー毎のパーが異なる場合でも、通常のプレーイングハンディキャップ計算に追加するハンディキャップストロークはない。

IV

ハンディキャップインデックスの 管理

規則 7



規則

7

委員会の行動

規則の理念:

ハンディキャップ委員会は、プレーヤーのハンディキャップを適切に管理するうえで極めて重要な役割を担っており、算出されたハンディキャップインデックスがプレーヤーのゴルフ技量を反映しなくなった場合には介入措置をとることができる。

これらの措置は、適切に実施することにより、どこのゴルフクラブでもプレーヤーが公平且つ一貫性を持って扱われるように設計されている。

また競技を管理する委員会は、参加するすべてのプレーヤーに対して競技の条件を制定することについて重要な役割を担う。

7.1 ハンディキャップ委員会

7.1a ハンディキャップ検証の実施とハンディキャップインデックスの修正

- (i) ハンディキャップ検証の実施: ハンディキャップ委員会は、付属規則 D に定められた手順を使用して、プレーヤーのハンディキャップインデックスを検証するべきである。
- ハンディキャップ委員会が、少なくとも 1 年に 1 回、ハンディキャップ検証を実施することを強く推奨する。
 - ハンディキャップ検証は、プレーヤーまたは他のプレーヤーの要請でいつでも実施することができる。
 - プレーヤーのハンディキャップインデックスを修正する前に、ハンディキャップ委員会は、以下を含む、入手可能なすべての証拠を注意深く検討するべきである:
 - そのプレーヤーの潜在的なスコアリング能力が、一時的または慢性的な怪我や病気による影響を受けており、そのことによって、そのプレーヤーが他のプレーヤーと公平にプレーするための技量に著しい影響をおよぼしていないかどうか?
 - そのプレーヤーが以前に保持していたハンディキャップ
 - そのプレーヤーは、急速に上達中のプレーヤーか?あるいは技量が低下しているプレーヤーか?

- あるプレー形式と別のプレー形式でプレーヤーのパフォーマンスが著しく異なっていないか?例えば、競技ラウンドと一般のプレー、承認されたプレー形式と承認されていないプレー形式、など。
- プレーヤーの行動が、不当な利益を得るためのものであると判断されたことがあるか?

- (ii) ハンディキャップインデックスの修正: ハンディキャップ委員会は、入手可能なすべての証拠を検討し、プレーヤーのハンディキャップインデックスを修正する最も効果的な方法を決定しなければならない。その方法は、次のいずれかを選択できる:
- そのプレーヤーの実証された技量をより正確に反映すると判断された任意のハンディキャップインデックス値に修正するために、スコア記録内の最新 20 枚のスコアディファレンシャル 1 枚ずつに修正値を適用することによってハンディキャップインデックスをリセットする。
 - この方法は、新しいスコアが提出されると、随時ハンディキャップインデックスが更新される。
 - プレーヤーのスコア記録に登録されているスコアが 20 枚未満の場合、この修正値は登録されているすべてのスコアディファレンシャルに適用される。
 - この修正が必要なくなると判断された場合、ハンディキャップ委員会は、いつでもこの修正を解除することができる。

または、

- ハンディキャップインデックスを、ハンディキャップ委員会が選択した数値で一定期間凍結する。
 - この期間中は、新しいスコアが提出されてもプレーヤーのハンディキャップインデックスは更新されない。但し、ハンディキャップ委員会が、数値の増加のみに対して凍結を適用した場合を除く。
 - ハンディキャップ委員会は、ハンディキャップインデックスの凍結をいつでも解除ことができ、その場合、プレーヤーのスコア記録に登録されているスコアを使用してハンディキャップインデックスが計算される。

ハンディキャップ検証の結果、プレーヤーのハンディキャップインデックスを修正する場合は、以下のように適用しなければならない：

- プレーヤー本人がその旨の通知を受け、ハンディキャップ委員会、または承認された協会（該当する場合）に対して反論する機会を得た後に適用する。
- 上方または下方修正は、最少1打で行う。
- 上方修正は、プレーヤーのローハンディキャップインデックスに対してプラス 5.0 打を上限とする。但し、長期間に渡る病気や怪我などの理由により、プレーヤーがそれ以前に達成したレベルでプレーすることができなくなった場合など、例外的な状況がある場合を除く。

規則7.1aの解釈：

7.1a/1 - プレーヤーの最新20枚のスコアディファレンシャルを修正することによるハンディキャップインデックスのリセット方法

プレーヤーのスコア記録に登録されている最新 20 枚のスコアディファレンシャル 1 枚ずつに修正値を適用することによって、次のスコアが提出された後も修正の効果は継続し、その後さらに新しいスコアが提出されるに従って修正の効果は徐々に薄くなる。

例えば、プレーヤーの急速な上達が最近のスコアによって示されているために、ハンディキャップ委員会は、そのプレーヤーのハンディキャップインデックスを 10.3 から 9.3 に修正することを決定した。

この場合、ハンディキャップ委員会は、最新 20 枚のスコアディファレンシャル 1 枚ずつに -1 打の修正を適用する。この修正が最終計算結果に反映するかは次の表に示した通り：

スコア	コースレーティング	スロープレーティング	スコアディファレンシャル
83	70.0	131	11.2
86	71.8	127	12.6
82	69.0	125	11.8
79	69.8	128	8.1
87	70.1	134	14.3
90	70.0	128	17.7
89	71.8	131	14.8
88	71.5	129	14.5
81	69.4	127	10.3
92	71.7	130	17.6
86	71.8	127	12.6
87	70.1	134	14.3
79	69.8	128	8.1
83	70.7	125	11.1
88	71.5	129	14.5
92	71.7	130	17.6
80	69.1	120	10.3
86	71.8	127	12.6
82	69.4	127	11.2
90	70.0	128	17.7

ベスト8枚

プレーヤーのスコア記録内のスコアディファレンシャル最新20枚中ベスト8枚の平均によって算出されるハンディキャップインデックスは、以下の通り：

$$(11.2 + 11.8 + 8.1 + 10.3 + 8.1 + 11.1 + 10.3 + 11.2) \div 8 = \text{HDCPインデックス } 10.3$$

スコア	コースレーティング	スロープレーティング	スコアディファレンシャル	HDCP検証による修正
83	70.0	131	11.2	-1
86	71.8	127	12.6	-1
82	69.0	125	11.8	-1
79	69.8	128	8.1	-1
87	70.1	134	14.3	-1
90	70.0	128	17.7	-1
89	71.8	131	14.8	-1
88	71.5	129	14.5	-1
81	69.4	127	10.3	-1
92	71.7	130	17.6	-1
86	71.8	127	12.6	-1
87	70.1	134	14.3	-1
79	69.8	128	8.1	-1
83	70.7	125	11.1	-1
88	71.5	129	14.5	-1
92	71.7	130	17.6	-1
80	69.1	120	10.3	-1
86	71.8	127	12.6	-1
82	69.4	127	11.2	-1
90	70.0	128	17.7	-1

ベスト8枚

委員会による修正「-1」が適用されたプレーヤーのスコア記録内のスコアディファレンシャル最新20枚中ベスト8枚の平均によって算出されるハンディキャップインデックスは、以下の通り：

$$(10.2 + 10.8 + 7.1 + 9.3 + 7.1 + 10.1 + 9.3 + 10.2) \div 8 = \text{HDCPインデックス } 9.3$$

7.1a/2 – 怪我をしたプレーヤーに対するハンディキャップ委員会による修正は、怪我が発生した後のスコアに基づかなければならない。

怪我をしたプレーヤーのハンディキャップインデックス修正については、ハンディキャップ委員会は、その怪我が発生した後の採用可能なスコアが少なくとも 1 枚提出された後に検討するべきである。修正の程度を決定する際は、ハンディキャップ委員会は、その怪我の発生後に提出されたスコア、および怪我の性質と程度を考慮するべきである。

何枚ものスコアを提出した後、その怪我のためにプレーヤーの技量が恒久的に変化したことが明らかになった場合は、そのプレーヤーのスコア記録を破棄し、怪我が発生した後に提出されたスコアだけを使用して新規にハンディキャップインデックスを発行することが適切な場合もある（規則 5.2 参照）。

7.1b ペナルティースコアの適用

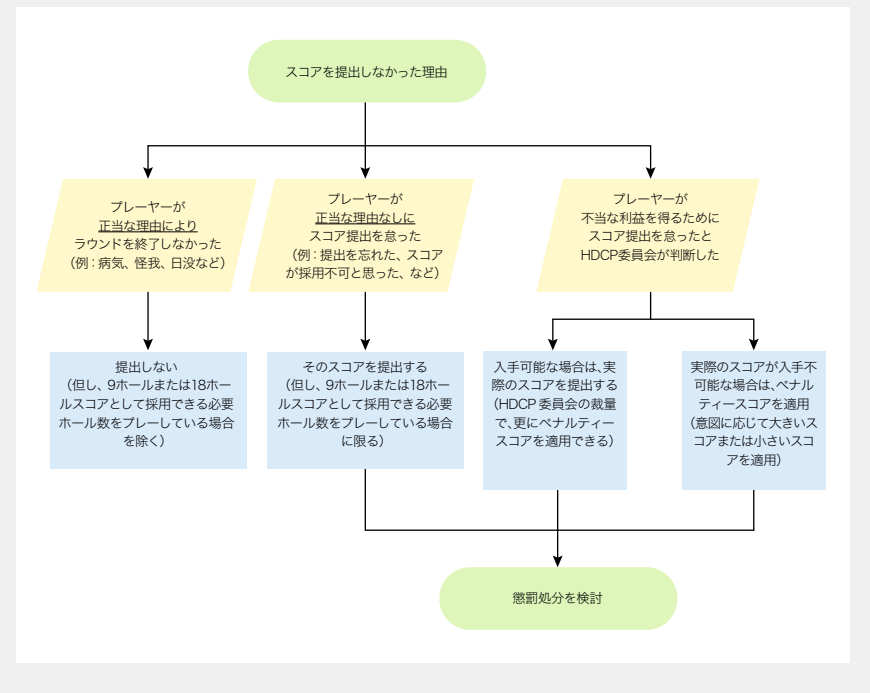
プレーヤーが、承認されたプレー形式のスコアを適時提出しなかった場合、ハンディキャップ委員会は、その理由を調査し、適切な措置をとるべきである。

- (i) 正当な理由でスコアが提出されなかった場合:プレーヤーのホーム倶楽部のハンディキャップ委員会は、プレーヤーがスコアを提出しなかった理由が正当なものか否かを決定する権限を持つ。
- スコアを提出しない正当な理由には、以下を含むことができる：
 - 突然の怪我や病気
 - 緊急事態
 - 危険な気象状況
 - ハンディキャップ委員会が正当とみなしたその他の理由
 - ホーム倶楽部または委員会が、プレーヤーがスコアを提出しなかった理由が正当なものだと判断した場合、選択できるオプションは次の 2 種類とする：
 - **オプション 1 – そのスコアを提出しなければならない。**ラウンドは完了していないが、承認された協会が決定した 9 ホールまたは 18 ホールスコアとして採用するための最少ホール数をプレーしている場合は、そのスコアをハンディキャップ査定のために提出するべきである。
 - **オプション 2 – そのスコアを提出してはならない。**ラウンドは完了しておらず、承認された協会が決定した 9 ホールまたは 18 ホールスコアとして採用するための最少ホール数をプレーしていない場合は、そのスコアをハンディキャップ査定のために提出してはならない。

- (ii) 正当な理由なしでスコアが提出されなかった場合:委員会は、プレーヤーがスコアを提出しなかった理由が正当なものか否かを決定する権限を持つ。
- スコアを提出しない不当な理由には、以下を含むことができる：
 - 良いスコアによってハンディキャップインデックスが低減することを妨げる
 - 悪いスコアによってハンディキャップインデックスが増加することを妨げる
 - プレーヤーのスコアが特定可能であり、プレーしたホール数が、承認された協会が決定した 9 ホールまたは 18 ホールスコアとして採用するための最少ホール数を満たしている場合は、そのスコアをハンディキャップ査定のために提出するべきである。
 - ハンディキャップ委員会がペナルティースコアを提出した後に、そのプレーヤーの実際のスコアがあることが分かった場合、そのスコアもプレーヤーのスコア記録に登録するべきである。既にプレーヤーのスコア記録に登録されたペナルティースコアをそのまま残すか削除するかについては、ハンディキャップ委員会の裁量に委ねる。
 - プレーヤーがスコアを提出しなかったのは、ハンディキャップインデックスを改ざんする目的であるとハンディキャップ委員会が結論付けた場合、そのプレーヤーのハンディキャップインデックスの停止、および/または適切なペナルティースコア（目的に応じて大きいスコアまたは小さいスコア）の適用を検討するべきである。
 - ハンディキャップ委員会または承認された協会は、繰り返しスコア提出を怠ったプレーヤー、またはラウンドを完了しなかったプレーヤーに対して、懲罰処分を検討するべきである。

(図 7.1b 参照)

図7.1b：スコア未提出の場合にハンディキャップ委員会が実施できる行動



7.1c ハンディキャップインデックスの停止

ハンディキャップ委員会、または承認された協会は、プレーヤーがハンディキャップ規則が定めるプレーヤーの責任(付属規則 A 参照)を故意に、または繰り返し遵守しなかった場合、そのプレーヤーのハンディキャップインデックスを停止するべきである。

- プレーヤーのハンディキャップインデックスを停止する場合は、必ず事前にその旨をプレーヤーに通知し、ハンディキャップ委員会、承認された協会、またはその他の機関に反論する機会を与えるべきである。
- プレーヤーは、ハンディキャップインデックスの停止期間、およびその他追加の条件について、必ず通知を受けなければならない。

7.1d ハンディキャップインデックスの復活

プレーヤーのハンディキャップインデックスが一定期間停止され、その後復活できる状態になった場合、そのハンディキャップインデックスの復活が必要となる。

そのプレーヤーのハンディキャップインデックスをどのレベルで復活させるかを決定するために、ハンディキャップ委員会は次のいずれかを考慮することができる：

- プレーヤーの実証された技量を反映するとハンディキャップ委員会が考えるレベルでハンディキャップインデックスを復活させる。
- そのプレーヤーを新規ゴルファーとみなして、新たにハンディキャップインデックスを発行する。
- 前回登録されたハンディキャップインデックスで復活させる。

ハンディキャップインデックスが復活された場合、ハンディキャップ委員会がその後のラウンドを通してそのプレーヤーのハンディキャップインデックスを注意深く監視し、必要に応じて適切な修正を適用することを強く推奨する。

7.2 競技を管理する委員会

7.2a 競技の条件

競技を管理する委員会は、競技の条件でハンディキャップに関する上限を設けることができる。例えば、委員会は以下を設定できる：

- エントリー資格としての、または競技で使用するハンディキャップインデックスの上限
- プレーイングハンディキャップの上限

委員会が上限を設定した競技の後に、プレーヤーのハンディキャップインデックスを更新する際は、制限が適用されていないプレーヤーのフルコースハンディキャップを使用して調整グロススコアを計算するべきである。

競技の運営管理をスムーズに行うために、同一日または連続する複数日における複数ラウンドの競技を管理する委員会は、競技の条件において、競技開催期間中はプレーヤーのハンディキャップインデックスを変更するか否かを決定しなければならない。そのような競技においては、ハンディキャップインデックスを変更しないことを強く推奨する。

7.2b その他の行動

競技を管理する委員会は、以下を行う権限を持つ：

- 参加者のハンディキャップインデックスが本人の実証された技量を反映していないことを示す証拠がある場合、競技の条件で参加者のプレーイングハンディキャップを修正する。
- コースコンディションが異常に悪い時に、ハンディキャップ査定のためのスコア提出の一時中断を決定する。このような一時中断を実施する前に、委員会は承認された協会の許可を得るべきである。



V

付属規則
付属規則 A~G

付属規則A: 権利と責任

ワールドハンディキャップシステムは、すべての主要ステークホルダーがハンディキャップ規則で定められた要件を満たすよう努め且つそれぞれの責任を果たすことによって、その完全性が保たれる。

ハンディキャップ規則における主要ステークホルダーは、以下の通り：

- プレーヤー
 - ゴルフ倶楽部とそのハンディキャップ委員会
 - 地区ゴルフ協会 *
 - ナショナル協会 *
 - マルチナショナル協会 *
 - USGA および R&A
- * 総称して承認された協会

各主要ステークホルダーの責任は以下である：

1. **プレーヤーの責任：**ハンディキャップ規則の要件を遵守するために、プレーヤーは以下を行うことが期待される：
 - (i) ハンディキャップ規則を遵守することによって誠実に行動し、不当な利益を得ることを目的としてハンディキャップ規則を使用または回避しない。
 - (ii) 単一のスコア記録による1つのハンディキャップインデックスのみを保有し、それは自身のホーム倶楽部がハンディキャップ規則に従って管理しているものとする。
注：プレーヤーがメンバーとして所属するすべてのゴルフ倶楽部を含む、いかなるコースでプレーする際にも、このハンディキャップインデックスを使用する。
 - (iii) 自身がメンバーとして所属する各ゴルフ倶楽部が、以下に関する詳細を把握するようにする：
 - プレーヤーがメンバーである他のゴルフ倶楽部すべて
 - プレーヤーが自身のホーム倶楽部に指定したゴルフ倶楽部
 - (iv) 承認されたプレー形式のラウンドを開始する前に：

- 自身の最新のハンディキャップインデックスを知っておく。
 - まだスコア記録に登録されていない未提出のスコアを含み、自身のハンディキャップインデックスに相違がある場合は、そのことをハンディキャップ委員会または競技を管理する委員会に報告する。
 - どのホールでハンディキャップストロークを受けたり与えたりするかを知っておく。
 - ストロークプレー競技のスコアカードに自身の正しいハンディキャップを記入する。
- (v) 各ホールで最善のスコアを目指してプレーする。
 - (vi) 自身のハンディキャップ管轄地域以外でプレーしたスコアを含み、該当する場合、すべての採用可能なスコアがハンディキャップ査定のために提出されるようにする。採用可能なスコアは、次の通り提出すべきである：
 - プレー当日の深夜0時まで提出する
 - 正しい時系列順に提出する
 - (vii) 自身の実証された技量を合理的に裏付けるために、採用可能なスコアを提出する。
 - (viii) 新規入会したゴルフ倶楽部に、それまでに自身のプレー、ハンディキャップインデックス、所属倶楽部の詳細履歴、および自身のゴルフ技量に関わるその他の情報を提供する。
 - (ix) ゴルフ規則に従ってプレーする。
 - (x) ゴルファー仲間のスコアを証明する。

2. ゴルフ倶楽部 / ハンディキャップ委員会、地区協会、ナショナル協会、マルチナショナル協会の責任： ハンディキャップ規則の要件を遵守するために、ハンディキャップ委員会と承認された協会は、以下を行うものとする：

		承認された協会：			
		ゴルフ倶楽部/ HDCP委員会	地区協会	ナショナル 協会	マルチ ナショナル 協会
(i)	ハンディキャップ委員会を設置し、ワールドハンディキャップシステムが適切に管理され且つその完全性が守られるようにするための体制をサポートする。	✓	✓	✓	✓
(ii)	代理のステークホルダーがその責任を果たすようにする。	✓	✓	✓	✓
(iii)	代理のステークホルダーがその責任を果たしていない場合の対処手順を定める。	✓	✓	✓	✓
(iv)	代理のステークホルダーに対して、ワールドハンディキャップシステムおよびそのステークホルダーの責任に関する教育を提供する。	✓	✓	✓	✓
(v)	プレーヤーのハンディキャップインデックス停止に関する手順を定める。	✓	✓	✓	✓
(vi)	プレーヤーのハンディキャップインデックスを正確に計算できるようにするために、できれば最低過去2年間におよぶ十分な履歴情報を含んだ、包括的且つ最新のプレーヤーのスコア記録を管理する。	✓	✓	✓	✓
(vii)	承認されたプレー形式でプレーする時のハンディキャップ査定のための手順を伝達する。	✓	✓	✓	✓
(viii)	第三者のシステム業者などとの契約を含み、ワールドハンディキャップシステムの計算式または手順の使用を承認する。		✓	✓	✓
(ix)	プレーヤーのハンディキャップインデックスが常に本人の実証された技量を表すようにするため、少なくとも1年に1回、ハンディキャップインデックスを検証する。	✓	✓	✓	
(x)	以下の場合に、プレーヤーのハンディキャップインデックスを修正または停止する： <ul style="list-style-type: none"> プレーヤーのハンディキャップインデックスが、本人の実証された技量を反映しなくなった場合 プレーヤーが、ハンディキャップ規則が定める本人の責任遂行を怠った場合 プレーヤーの行為が、不当な利益を得るためのものであると判断された場合 プレーヤーのハンディキャップインデックスを修正または停止する場合は、その事実と適用期間をプレーヤーに通知しなければならない。	✓	✓	✓	

		承認された協会：			
		ゴルフ倶楽部/ HDCP委員会	地区協会	ナショナル 協会	マルチ ナショナル 協会
(xi)	ハンディキャップ規則に関する疑義や紛争が生じた場合は、これを解決し、審判手続きを定める。	✓	✓	✓	
(xii)	スコアおよびハンディキャップに関するすべての関連情報を、必要に応じて他のステークホルダーに提供する。	✓	✓	✓	
(xiii)	ハンディキャップ規則に基づいて、推奨された（または定められた）パー設定の手順を適用、および/または伝達する。これにより、ハンディキャップ査定のためのホールスコア上限およびプレーしなかったホールのスコアを均一に適用できるようになる。	✓	✓	✓	✓
(xiv)	プレーヤーのスコア記録を更新する際に不備が生じた場合、ナショナル協会および/またはシステム業者にその旨を通知する。	✓	✓		
(xv)	必要に応じてプレーヤーのスコア記録にペナルティスコアを適用し、その旨をプレーヤーに通知する。	✓			
(xvi)	承認された協会によって義務づけられる場合、エリートレベルのプレーヤーのハンディキャップインデックスを発行、再発行、または修正する際に、承認を求める。	✓			
(xvii)	数値の小さいハンディキャップインデックスを発行または修正する場合に、承認された協会の承認が必要か否か、および承認が必要となる基準値を伝達する。			✓	✓
(xviii)	推奨ハンディキャップアローワンスを制定する。	✓	✓	✓	✓
(xix)	ハンディキャップナンパー割当方法を決定する。	✓	✓	✓	
(xx)	各日発行するプレーイングコンディション計算 (PCC) を集計・公表する。このことにより、管轄地域以外のプレーヤーがハンディキャップ計算にPCCを使用できるようになる。			✓	✓

注：

1. ナショナル協会がプレーヤーのハンディキャップを直接管理している場合は、ナショナル協会はゴルフ倶楽部の責任も担うものとする。
2. 責任の委任は、マルチナショナル協会またはナショナル協会のいずれかによって決定する（該当する場合）。

ゴルフコースに関するワールドハンディキャップシステムの責任

承認された協会は以下を行うものとする：	ゴルフ倶楽部/HDCP委員会は以下を行うものとする：
<p>1. 承認された協会が認可するすべてのコースには、コースレーティングシステムに従って決定されたコースレーティングとスロープレーティングが該当するすべてのティーに査定されているようにする。</p> <p>これらのレーティングは、ゴルフ倶楽部やそのオーナーが実施したすべての恒久的および臨時のコース改造を反映しなければならない。</p> <p>2. コースレーティング計算ソフトを使用して、すべてのコースレーティングとスロープレーティングを査定・発行する。</p> <p>3. 管轄地域内で査定したすべてのコースレーティングの記録を保存・管理する。</p> <p>4. コースレーティング検証委員会を設置する。</p> <p>5. すべての必要なコースレーティングの査定および再査定を実施するために、十分な人数の熟練した査定委員(チームリーダー含む)を確保する。</p> <p>6. プリファードライを採用した場合の採用可能なスコアが提出できる期間を決定する。</p> <p>7. 管轄地域内の非アクティブシーズン期間(開始日と終了日)を決定する。</p>	<p>1. コースレーティングが査定され、承認されたプレー形式でプレーが行われる各ティーは、正確なコース距離が測定されているようにする。</p> <p>2. 査定されたコースレーティングとスロープレーティングに影響を与える可能性のある著しいコース改造を実施した場合(特にコース距離の変更やペナルティーエリアの採用など)、必ず承認された協会に報告する。</p> <p>3. すべての採用可能なスコアは、コースレーティングシステムで定められたコースレーティングとスロープレーティングを持つティーからプレーしたものであるようにする。</p> <p>4. コースレーティングの査定が実施された時と同様のコンディションにゴルフコースを維持する。</p> <p>5. プレーヤーの参考となるように、各ティーのコースハンディキャップとプレーイングハンディキャップの換算表を掲示する。</p> <p>6. コースコンディションが異常に悪い場合は、すべての採用可能なスコアの提出を一時中断するようにする。</p> <p>その際、ゴルフ倶楽部は必ず承認された協会の事前承認を受けなければならない。</p> <p>7. ゴルフコースがゴルフ規則に従ってマーキングされているようにする。</p>

付属規則B: プレーヤーのスコア記録

スコア記録の以下の3つのサンプル例は、簡易版および詳細版のプレーヤーのスコア記録に含まれるべき情報を示したものである:

- (i) 通常版: スコアの証明のためにスコア相互検証が義務づけられている国において、ゴルフ倶楽部内のハンディキャップ委員会およびすべてのプレーヤーが閲覧できる。この記録には、最新 20 枚のスコア、および最新 20 枚から除外された直近 5 枚のスコアを表示する。

プレーヤー名: プレーヤーID番号: ホーム倶楽部:	ローHDCP インデックス: xx.x	最新HDCPインデックス: 査定日: 日/月/年
----------------------------------	------------------------	-----------------------------

	プレー日 (日/月/年)	コース名	コース レーティング	スロープ レーティング	調整クロス スコア	スコア ディファレンシャル	調整値
01							
02							
03							
04							
05							
06							
07							
08							
09							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							

- (ii) 簡易版: スコアの証明のためにスコア相互検証が義務づけられている国において、ハンディキャップ委員会およびプレーヤーが閲覧できる。この記録は「通常版」と同様だが、公開範囲がより広いため、個人情報保護の目的でプレー日の日付とプレーしたゴルフコースの名称を除外する。

プレーヤー名: プレーヤーID番号: ホーム倶楽部:	ローHDCP インデックス: xx.x	最新HDCPインデックス: 査定日: 日/月/年
----------------------------------	------------------------	-----------------------------

	プレー日 (月/年)	コース レーティング	スロープ レーティング	調整クロス スコア	スコア ディファレンシャル	調整値
01						
02						
03						
04						
05						
06						
07						
08						
09						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

(iii) 詳細版：そのスコア記録が帰属するプレーヤー本人、そのハンディキャップ委員会、および紛争解決に関わる者が参照し、またワールドハンディキャップシステムのすべての要素をサポートするために使用することができる。このスコア記録には、最新20枚のスコア、および最新20枚から除外された直近5枚のスコアに関する詳細を表示し、またプレーヤーのスコア記録の完全履歴へのリンクオプションも提供する。

凡例：

- プレーヤー/オフィシャルが入力しなければならない必須項目
- ハンディキャップ計算システム/ソフトウェアが自動入力する項目
- ナショナル協会がプレーヤー/オフィシャルに入力を義務づけることができるオプション項目

- * 日付フィールドは承認された協会が管轄地域の個人情報保護法令に基づいていずれかの表示方法を選択できる
- ** 注5 参照
- *** 注6 参照
- **** 注9 参照

プレーヤー名/ID番号：						ホーム倶楽部：自動			
必須入力	自動	検索機能	オプション	自動	必須入力	オプション	自動	自動	必須
プレー日 (月/年)* または (日/月/年)*	提出日	コース名	競技名	国/都道府県	使用ティー /パー	スタート 時間 (およそ)	コースレ ーティング	スロープ レーティ ング	ホール数 9/18
01									
02									
03									
04									
05									
06									
07									
08									
09									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									

		ローHDCPインデックス：				最新HDCPインデックス：自動				
オプション	オプション	メニュー 選択	必須	自動***	自動	自動***	自動	自動	自動	自動
プレーした ホール数/ スタートホ ール	アテスト 署名者	プレー形式 /スコア タイプ**	グロススコア (または調整 ロススコア)	調整グロス スコア (ネットダ ブルボギー)	コース HDCP	ステーブル フォードポ イント/パー /ボギー 結果	PCC	スコア Diff.	例外的な スコア調 整、 HDCP検 証による 修正	最新HI (調整含む)

注：

入力フィールドの多くは、ハンディキャップ計算システムによる自動入力化することが可能。

1. **ホーム倶楽部**（ハンディキャップ管理上の指定）は、プレーヤーの ID 番号または氏名から自動的に生成できる。
2. **最新ハンディキャップインデックス**は、最後に計算されたハンディキャップインデックスから自動的に生成できる。
3. スコア提出日は、そのスコアが**スコア記録**に入力された日付をデフォルト設定とし、必要に応じて変更オプションを付加できる。
4. コースデータベース（ローカル管理または中央一元管理）から、次の情報を自動生成できる：州 / 国（コース所在地）、**コースレーティング**、**スロープレーティング**、**パー**、「**コースレーティングパー**」調整。
5. ** 必要な場合は、スコアタイプの指定を承認された協会が決定すべきである。これにより、プレー形式、ラウンドがプレーされた場所、その他ラウンドに関する詳細を識別しやすくなる。これは主に**ハンディキャップ委員会**の検証プロセスを支援する機能だが、**ハンディキャップ規則**の正しい適用を促すものでもある。スコアタイプは、次の例のように指定する：

ラウンド種別： (C) 競技、(G) 一般プレー、(N) 9ホールラウンド

プレー形式： (S) ストロークプレー、(M) マッチプレー

プレー場所： (H) ホーム、(A) アウェイ

その他詳細： (I) 未了ラウンド、(E) 例外的なスコア、(P) ペナルティースコア
6. *** ホール・バイ・ホールのスコア入力を採用する場合、**グロススコア**に対する適切な調整を自動計算できる。ホール・バイ・ホールのスコア入力を採用しない場合は、スタートしたがホールアウトしなかったホール、またはプレーしなかったホールの**調整グロススコア**を、手動で計算、入力する必要がある。
7. **コースハンディキャップ**は、プレーヤーの**ハンディキャップインデックス**、プレーしたティーの**コースレーティング**、**スロープレーティング**、および**パー**を使用して自動計算できる。
8. **調整グロススコア**は自動計算できる。
9. **** ステアブルフォードポイントおよびパー / ボギー競技の結果は、ホール・バイ・ホールのスコア入力を採用する場合は自動計算できる。そうでない場合は、**トータルポイント / 結果**を手動入力する必要がある。

10. **最終調整**（例外的なスコアおよび／または委員会による修正など）は、自動的に計算し、最終的に調整された**ハンディキャップインデックス**を算出することができる。自動入力不可能なフィールドがある場合は、スコア入力時に手動で入力する必要がある。

付属規則C:ハンディキャップアロー ワンス

ハンディキャップアローワンスは、9ホールおよび18ホールのプレー形式で、すべての技量レベルのプレーヤーが公平に競うことができるように設計されたものである。

ハンディキャップアローワンスはコースハンディキャップに適用し、その適用後の数値がプレーヤーのプレーイングハンディキャップとなる(規則6.1および6.2参照)。

ナショナル協会は、ハンディキャップアローワンスの制定に関する責任を持つ。但し、その責任を、地区ゴルフ協会またはゴルフ倶楽部に委任することができる。

推奨ハンディキャップアローワンスは、次の表に示した通り。なお、以下のアローワンスは、参加人数が中規模のネット競技に基づいており、競技の参加人数や希望する公平性に応じて調整することができる(解釈C/1参照)：

プレー形式	ラウンドの種類	推奨ハンディキャップアローワンス
ストロークプレー	個人	95%
	個人ステーブルフォード	95%
	個人パー/ボギー	95%
	個人最大スコア	95%
	フォアボール	85%
	フォアボール・ステーブルフォード	85%
	フォアボール・パー/ボギー	90%
マッチプレー	個人	100%
	フォアボール	90%
その他	フォアサム	チームHDCP合計の50%
	グリーンサム	HDCPの少ないプレーヤーの60%+多いプレーヤーの40%
	パインハースト/チャップマン	HDCPの少ないプレーヤーの60%+多いプレーヤーの40%
	4人中1人のベストボール・ストロークプレー	75%
	4人中2人のベスト合計・ストロークプレー	85%
	4人中3人のベスト合計・ストロークプレー	100%
	4人の合計スコア・ストロークプレー	100%
	スクランブル(4人1組)	HDCPの少ない方から、それぞれ25%、20%、15%、10%
	スクランブル(2人1組)	HDCPの少ないプレーヤーの35%、多いプレーヤーの15%
	パートナー2人の合計スコア・マッチプレー	100%
	4人中1人のベストボール・パー/ボギー	75%
	4人中2人のベスト合計・パー/ボギー	80%
	4人中3人のベスト合計・パー/ボギー	90%
	4人の合計スコア・パー/ボギー	100%

ハンディキャップ競技：

競技の場合は、委員会は競技の条件でハンディキャップアローワンスを規定するべきである。

通常、ストロークプレー形式では、ハンディキャップアローワンスを適用後、プレーヤーはフルプレーイングハンディキャップを使用する。

通常、マッチプレー形式では、ハンディキャップアローワンスを適用後、最もプレーイングハンディキャップの少ないプレーヤーが他のプレーヤーに対してハンディキャップストローク 0 (ゼロ) でプレーする。その他のプレーヤーは、最もプレーイングハンディキャップの少ないプレーヤーと自身のプレーイングハンディキャップの差をハンディキャップストロークとして受ける。

プラスプレーイングハンディキャップ:

委員会が別途規定している場合を除き、“プラス”プレーイングハンディキャップのプレーヤーは (例えば +2)、ハンディキャップナンバー 18 のホールから順番にハンディキャップストロークを与える。例えば、プレーイングハンディキャップ +2 のプレーヤーは、ハンディキャップナンバー 18 と 17 のホールでハンディキャップストロークを与える。

ハンディキャップアローワンスを適用する際、プラスプレーイングハンディキャップのプレーヤーは、端数の四捨五入処理を含めて数値がゼロ(0) 方向に変動する。このことにより、相対的なプレーイングハンディキャップの差が変わらないように維持できる。

注: プラスプレーイングハンディキャップは、負の値で表示する (規則 5.2c 参照)。

延長ホール:

ハンディキャップアローワンスは、9 ホールまたは 18 ホールでの公平性を確保するために設計されている。競技の優勝者や他の順位を決定するために延長ホールをプレーすることが義務づけられている場合は、ハンディキャップストロークが適用されるホールを、競技の条件で規定するべきである (ゴルフ規則のオフィシャルガイド「委員会の措置」セクション 7A 参照)。

付属規則Cの解釈:

C/1 - 推奨ハンディキャップアローワンスに及ぼすフィールドサイズの影響

フィールドサイズ (競技の規模) は公平性に影響を及ぼすため、特定の競技やプレー形式におけるハンディキャップアローワンスを決定する際に考慮するべきである。

すべての個人ストロークプレー形式の推奨ハンディキャップアローワンスは、中規模のネット競技 (少なくとも参加者 30 名) を基準として 95% に設定されているため、参加人数が 30 名未満の場合は、ハンディキャップアローワンスを 100% にすることが勧められる。

C/2 - ハンディキャップアローワンスを適用したハンディキャップ競技における、ハンディキャップストローク割り当て方法の例

プレーヤー	個人マッチプレー プレーイングHDCP HDCPアローワンス100%	フォアボールマッチプレー プレーイングHDCP HDCPアローワンス90%
A	10	9
B	18	16
C	27	24
D	39	35

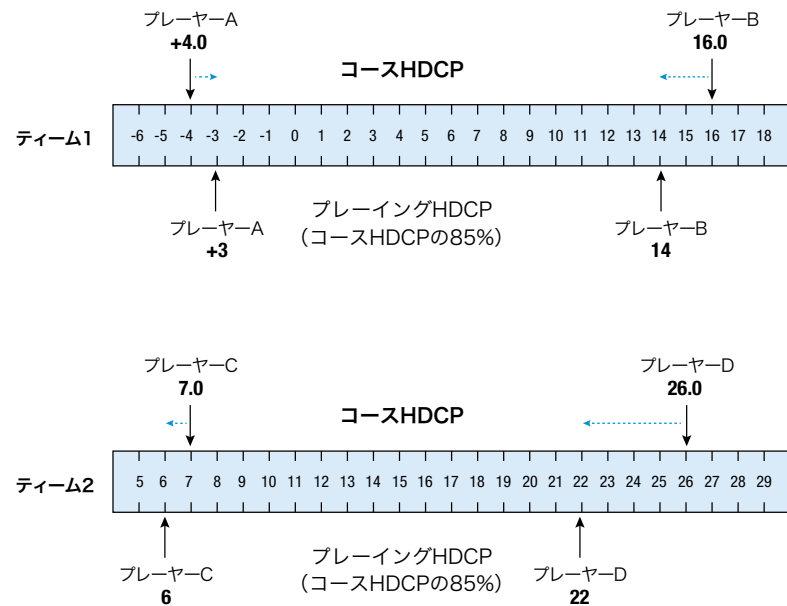
例 1: 個人マッチプレーでプレーヤー A とプレーヤー B が対戦した場合、プレーヤー A はハンディキャップストローク 0 (ゼロ) でプレーし、プレーヤー B はそのマッチでハンディキャップストローク 8 打を受ける。

例 2: フォアボールマッチプレーでは、プレーヤー A はハンディキャップストローク 0 (ゼロ) でプレーし、プレーヤー B は 7 打、プレーヤー C は 15 打、プレーヤー D は 26 打を受ける。

注: フォアボールマッチプレーのハンディキャップストロークの割り当ては、ハンディキャップが最も少ないプレーヤーが不参の場合でも変わらない。

C/3 - ハンディキャップアローワンスを適用したハンディキャップ競技における、プラスハンディキャップのプレーヤーを含んだ場合のハンディキャップストローク割り当て方法の例

次の図は、コースハンディキャップ + 4 (プレーヤー A)、16 (プレーヤー B)、7 (プレーヤー C)、26 (プレーヤー D) の 4 人が、フォアボールストロークプレー競技で対戦する場合に、両チームにハンディキャップアローワンス 85% を適用する方法を示している。



ハンディキャップアローワンス 85% を適用した結果、パートナー間のプレーイングハンディキャップの差はチーム 1 は 17 打、チーム 2 は 16 打となる。これはコースハンディキャップ差のおよそ 85% であり、相対的な公平性を維持している。

ハンディキャップアローワンスを適用する際は、常にプレーイングハンディキャップがゼロに近づくように数値が減少する。これはプラスハンディキャップインデックスのプレーヤーも同様である。

例：

プレーヤー	コース HDCP	フォアボールストロークプレー プレーイングHDCP HDCPアローワンス85%	フォアボールマッチプレー プレーイングHDCP HDCPアローワンス90%
A	+4	+3	+4
B	16	14	14
C	7	6	6
D	26	22	23

例 1：フォアボールストロークプレーでは、プレーヤー A は 3 打を与え、プレーヤー B、C、D は、それぞれ 14 打、6 打、22 打を受ける。

例 2：フォアボールマッチプレーでは、プレーヤー A はハンディキャップストローク 0 (ゼロ) でプレーし、プレーヤー B、C、D は、それぞれ 18 打、10 打、27 打を受ける。

付属規則D:ハンディキャップ検証

ハンディキャップ検証は、プレーヤーのハンディキャップインデックスが常に本人の実証された技量を反映するように、ハンディキャップ委員会が実施できる手続きである。ハンディキャップ検証は、ハンディキャップ委員会が、そのゴルフ倶楽部を自身のホーム倶楽部に指定したすべてのプレーヤーに対して、少なくとも1年に1回実施することを強く推奨する。

- ワールドハンディキャップシステム計算ソフトの仕様は、ハンディキャップ委員会がハンディキャップ検証を必要とするプレーヤーを特定するための補助として、レポートおよび通知を実行することを勧める。検証は、1年に1回、または必要に応じて実施できる。
- プレーヤーは、ハンディキャップ検証の手続きに関して、できる限りそれを認識し、協力する機会を与えられなければならない。要請があれば審判手続きがとれるようにしなければならない。

ハンディキャップ検証は、以下の場合に実施することができる：

- 承認された協会が、管轄地域内のゴルフ倶楽部に対して、ハンディキャップインデックスを保有するすべてのプレーヤーのハンディキャップ検証を1年に1回実施するように義務づける場合。
- ハンディキャップ委員会が、本人の実証された技量を反映していないスコアを絶えず提出しているプレーヤーのハンディキャップ検証を希望する場合。
- プレーヤーが、一定期間で提出したスコアが自身の最新のハンディキャップインデックスと合致しないと感じ、ハンディキャップ検証を要求する場合。

ハンディキャップ委員会は、ハンディキャップ検証を実施する際に、以下の内容を考慮する：

- プレーヤーのスコア記録の履歴
- 過去12～24ヶ月間のプレーヤーのハンディキャップインデックスの変動
- そのプレーヤーの想定スコアリングパフォーマンスとの差異
- 過去12ヶ月間とそれ以前の12ヶ月間におけるスコア提出頻度
- 競技ラウンドとプライベートラウンドの平均スコアディファレンシャルの比較
- マッチプレーとストロークプレーの平均スコアディファレンシャルの比較
- 個人競技と団体競技の平均スコアディファレンシャルの比較

- 承認されていないプレー形式でのスコアやパフォーマンス（分かっている場合）
- そのプレーヤーのゴルフ技量に関してハンディキャップ委員会が知っているその他の情報（例えば、レッスン受講による上達、プレー回数の減少、加齢、怪我や病気による潜在スコア技量の低下など）
- プレーヤーのホーム倶楽部で提出された採用可能なスコアの割合（%）
- プライベートラウンドで提出された採用可能なスコアの割合（%）
- 9ホールラウンドの採用可能なスコアの割合（%）
- ハンディキャップ委員会の検討対象となり得るハンディキャップ数値の変動
- 前回プレーヤーが自身のハンディキャップ通りのプレーをしてからの経過時間
- 前回プレーヤーが自身のハンディキャップ通りのプレーをして以降、提出されたスコア枚数
- プレーヤーがメンバーである他のゴルフ倶楽部から提供された情報

付属規則E:ハンディキャップナンバーの割り当て (ハンディキャップストロークインデックス)

ゴルフ規則は次のように定めている：「委員会はスコアカードやどこか別の目につく場所（例えば、最初のティーの近く）でハンディキャップストロークを与えたり、受けるホールの順番を公表する責任がある。」（ゴルフ規則のオフィシャルガイド「委員会の措置」セクション 5I(4) 参照）

ハンディキャップナンバーの割り当ては、18ホールを3ホール毎の6つのブロックに分け、各ホールの対パー難易度の順番を割り振ることを推奨する。各ホールの難易度は、コースレーティング査定を通して得られたホール・バイ・ホールのデータを使用して、客観的に決定することができる。算出方法は以下の通り：

$$\text{スクラッチ査定値} + \text{ボギー査定値} - (2 \times \text{パー})$$

例えば、パー 4 ホールで、スクラッチ査定値 4.2、ボギー査定値 5.3 の場合：

$$4.2 + 5.3 - (2 \times 4) = 1.5 \text{ オーバーパー}$$

ストロークプレーとマッチプレーの両方に対応するために設計された、3ホール毎の6つのブロックに分けてハンディキャップナンバーを割り当てる推奨方法は、以下に示した通り：

- フロントナインに奇数ナンバー、バックナインに偶数ナンバーを割り当てる。但し、コースレーティングの数値によりバックナインがフロントナインに比べて著しく難しい場合は、偶数ナンバーをフロントナイン、奇数ナンバーをバックナインに割り当てることができる。
- マッチが終了する前に、プレーヤーが受けることのできるハンディキャップストロークの多くを使う機会を得られるようにするために、18ホール全体で均等にハンディキャップナンバーを配分する。
- 最も小さいハンディキャップナンバー（1または2）は、各9ホールの真ん中のブロックに割り当てる。対パー難易度が最も低い6ホールが真ん中のブロックにない場合、それを1番目のブロックの最後のホール、または3番目のブロックの最初のホールに割り当てることができる。

- 2番目に小さいハンディキャップナンバー（3または4）は、各9ホールの1番目または3番目のブロックに割り当てる。但し、最も小さいハンディキャップナンバーのホールが同じブロックにある場合を除く。
- 可能であれば、連続するホールに小さいハンディキャップナンバー（6以下）を割り当てないようにする。
- プレーヤーが18打を超えるハンディキャップストロークを受取る場合は、ハンディキャップナンバー1を、19、37、および55に置き換え、同じハンディキャップナンバーの順番を使用して順次割り当てる。

これらの推奨手順は、ゴルフ規則のオフィシャルガイド「委員会の措置」セクション 5I(4)に従ったものである。

9ホールプレーの場合の、ハンディキャップナンバーの割り当て

18ホールのゴルフコースで行われる9ホールのプレー形式では、公表されている18ホールのハンディキャップナンバーの順番（昇順）でハンディキャップストロークを受取る。また別の方法として、ハンディキャップ委員会は、公表されている18ホールのハンディキャップナンバーの順番に従って、ハンディキャップナンバーの割り当てを1～9に変更することを検討できる。

プラスハンディキャップのプレーヤーの場合は、その9ホールに割り当てられた最も大きいハンディキャップナンバーのホールからハンディキャップストロークを与える。もしハンディキャップ委員会がハンディキャップナンバーの割り当てを1～9に変更した場合は、ハンディキャップナンバー9のホールからハンディキャップストロークを与える。

ハンディキャップナンバーの割り当て例：

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
HDCP ナンバー	7	15	5	11	1	13	3	17	9	8	16	6	12	2	14	4	18	10

委員会が、18ホールのハンディキャップナンバー割り当てを9ホール用に変更した場合の例：

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9
HDCPナンバー	4	8	3	6	1	7	2	9	5

付属規則F: パーの設定

ハンディキャップ規則は、以下の計算の要素としてパーを使用している：

- ネットパー（プレーしなかったホールの場合）
- ネットダブルボギー（ハンディキャップ査定のためのホールスコア上限）
- 「コースレーティングパー」調整を含んだコースハンディキャップ

ゴルフコースの各ホールに男女それぞれの正確なパーを設定することは重要であり、各ホールのパーはスコアカードに記載すべきである。

各ホールのパーは、以下のホール距離に基づいて設定することを推奨する：

パー	男子	女子
3	260ヤード以下 (240メートル以下)	220ヤード以下 (200メートル以下)
4	240 ~ 490ヤード (220 ~ 450メートル)	200 ~ 420ヤード (180 ~ 380メートル)
5	450 ~ 710ヤード (410 ~ 650メートル)	370 ~ 600ヤード (340 ~ 550メートル)
6	670ヤード以上 (610メートル以上)	570ヤード以上 (520メートル以上)

注：すべての距離は、標高 2000 フィート / 610 メートル未満での設定

- パーは、スクラッチプレーヤーがそのホールで達成することが期待されるスコアを反映し、そのホールのプレー難易度に基づいて設定できる。プレー難易度には、高低差、強制刻み、恒常風などの実効距離の修正要素が含まれる。
- ホール距離が、二つのパー設定範囲に該当する場合、例えば男子 470 ヤードまたは女子 400 ヤードの場合は、ホール難易度に応じてパー 4 またはパー 5 に設定することができる。

- ホール距離が、二つのパー設定範囲に該当する場合、そのホールの設計意図に沿ったプレー方法に基づいてパーを指定することが適切な場合がある。例えば、あるホールの男子用ティーで、フォワードティー以外のティーがすべてパー 4 の推奨距離となっている場合、フォワードティーの距離が 250 ヤードであっても、このホールはパー 4 ホールとしてプレーするように設計されているため、パー 4 に設定することができる。

付属規則G: ゴルフコース、コースレーティング、スロープレーティング

コースの実測、コースレーティングとスロープレーティング、コースの改造

a. 通則

承認された協会は、管轄地域内にあるゴルフコースのコースレーティングとスロープレーティングを決定する責任を持つ（ゴルフコースの定義参照）。

コースレーティングは定期的に検証し、必要に応じて再査定しなければならない。新設のゴルフコースは、開場後数年間は頻繁に変化する可能性があるため、初回査定日から5年以内の再査定を受けなければならない。その後、ゴルフコースは少なくとも10年に一度再査定を受けなければならない。

b. コースの実測

各ホールは、コースレーティングシステムに明記された手順に従って、各ティーの基準測定点からの距離を整数のヤード/メートルで測定しなければならない。

c. ティーマーカー

ゴルフコースの各ティーを指定するために使用するティーマーカーは、すべてのホールで一貫性のある名称、色、および/またはデザインを採用し、他のティーマーカーと識別できるようにするべきである。ティーマーカーの名称などについては、承認された協会がゴルフクラブに対して、性別や年齢と関連することを避けるための指針を提供することを強く勧める。

d. レーティングとパーの掲示

プレーヤーが容易に、自身のハンディキャップインデックスをコースハンディキャップとプレーイングハンディキャップに換算することができ、且つ採用可能なスコアを提出できるようにするために、各ティーのコースレーティング、スロープレーティング、およびパーは、すぐに分かるようにしておかなければならない。

e. コースレーティングとスロープレーティング

コースレーティングとスロープレーティングは、スクラッチプレーヤーとボギープレーヤーが通常のプレーイングコンディションでプレーした時のコースの難易度評価である。実効プレー距離は、各ホールの実測距離に、ロール、風、高低差、標高、ドッグレッグ、強制刻みの影響による修正を加味したものである。実効プレー距離に加えて、10項目の障害難易度をスクラッチプレーヤーとボギープレーヤーそれぞれに評価する。障害難易度10項目は、地形、フェアウェイ、グリーンターゲット、リカバリーとラフ、バンカー、ペナルティーエリア・キャリー障害、ペナルティーエリア・側方障害、樹木、グリーン表面、心理的影響である。コースレーティングシステムは、採点表ポイント、修正ポイント、および所定の計算式を使用してレーティングを算出する。

コースレーティングは、指定された9ホールまたは18ホールの実効プレー距離と障害難易度によって算出する。コースレーティングは、小数第1位の数値で表示し、スクラッチプレーヤーの想定スコアを表す。ボギーレーティングは、ボギープレーヤーの想定スコアを表す。コースレーティングとボギーレーティングの差に基づいて、スロープレーティングを決定する。標準的な相対難易度のコースはスロープレーティング 113 である。

ゴルフ規則で定義されているティーイングエリアの前の縁は、各ホールの基準測定点から前後10ヤード（10メートル）以内に設置すべきである。プレーヤーのスコアディファレンシャル計算に正確なコースレーティングとスロープレーティングを適用するために、ゴルフコースの全長は、実測距離より100ヤード（100メートル）を超えて短くなったり長くなるべきでない。

f. コースの改造

(i) 一時的な改造

ゴルフコースにコースレーティングに影響を与える可能性のある臨時の変更が施される場合は、ハンディキャップ委員会は必ず承認された協会にその旨を通知しなければならない。承認された協会は、そのようなコンディションでプレーされたスコアをハンディキャップ査定に採用できるか否か、およびコースレーティングとスロープレーティングを一時的に変更する必要があるか否かを決定する。

臨時のコースレーティングとスロープレーティングを発行した場合は、プレーヤーがラウンドを開始する前にその情報を知ることができるようにしなければならない。

18ホールのゴルフコースの場合：

承認された協会によって認められた場合、ハンディキャップ委員会および／または承認された協会は、以下の手順に従って、臨時のコースレーティングとスロープレーティングを決定する：

- 該当する性別のレーティングが査定されている最も近いティーを選ぶ。
- 選択した査定済みティーとプレーするティーの実測距離の差を算出する。
- 距離の差が100ヤード [100メートル] 未満の場合は、レーティングの調整は必要なく、通常通りスコアを提出できる。
- 距離の差が100～300ヤード [100～274メートル] の場合は、次の表を使用して調整値を決定し、臨時のコースレーティングとスロープレーティングを発行する。

以下の表を使用して、該当する距離差に基づいてレーティング調整値を選択する：

男子レーティング調整値			女子レーティング調整値		
ヤード [メートル]	コース レーティング 調整値	スロープ レーティング 調整値	ヤード [メートル]	コース レーティング 調整値	スロープ レーティング 調整値
100 - 120 [100 - 110]	0.5	1	100 - 116 [100 - 106]	0.6	1
121 - 142 [111 - 130]	0.6	1	117 - 134 [107 - 122]	0.7	1
143 - 164 [131 - 150]	0.7	2	135 - 152 [123 - 139]	0.8	2
165 - 186 [151 - 170]	0.8	2	153 - 170 [140 - 155]	0.9	2
187 - 208 [171 - 190]	0.9	2	171 - 188 [156 - 172]	1.0	2
209 - 230 [191 - 210]	1.0	2	189 - 206 [173 - 188]	1.1	2
231 - 252 [211 - 230]	1.1	3	207 - 224 [189 - 205]	1.2	2
253 - 274 [231 - 250]	1.2	3	225 - 242 [206 - 221]	1.3	3
275 - 300 [251 - 274]	1.3	3	243 - 260 [222 - 238]	1.4	3
*300ヤード [274メートル]を超える調整値は、 管轄地域の承認された協会に問い合わせること。			261 - 278 [239 - 254]	1.5	3
			279 - 300 [255 - 274]	1.6	3
*300ヤード [274メートル]を超える調整値は、 管轄地域の承認された協会に問い合わせること。					

注：すべての距離は、標高2000フィート/610メートル未満での設定

- プレーする未査定ティーの距離が査定済みティーの距離より長い場合、上記の調整値を査定済みティーの該当する性別のレーティングに足す。
- プレーする未査定ティーの距離が査定済みティーの距離より短い場合、上記の調整値を査定済みティーの該当する性別のレーティングから引く。
- 距離差が 300 ヤード [274 メートル] を超える場合、その日のスコアはハンディキャップ査定に採用できない。但し、ラウンドまたは競技開始前に、承認された協会によって別途決定された場合は、その限りではない。

9ホールゴルフコースの場合：

承認された協会によって認められた場合、ハンディキャップ委員会および/または承認された協会は、以下の手順に従って、臨時のコースレーティングとスロープレーティングを決定する：

- 該当する性別のレーティングが査定されている最も近いティーを選ぶ。
- 選択した査定済みティーとプレーするティーの実測距離の差を算出する。
- 距離の差が 50 ヤード [50 メートル] 未満の場合は、レーティングの調整は必要なく、通常通りスコアを提出できる。
- 距離の差が 50 ～ 150 ヤード [50 ～ 137 メートル] の場合は、次の表を使用して調整値を決定し、臨時のコースレーティングとスロープレーティングを発行する。

以下の表を使用して、該当する距離差に基づいてレーティング調整値を選択する：

男子レーティング調整値			女子レーティング調整値		
ヤード [メートル]	コース レーティング 調整値	スロープ レーティング 調整値	ヤード [メートル]	コース レーティング 調整値	スロープ レーティング 調整値
50 - 76 [50 - 90]	0.3	1	50 - 62 [50 - 57]	0.3	1
77 - 98 [70 - 90]	0.4	2	63 - 80 [58 - 73]	0.4	2
99 - 120 [91 - 110]	0.5	2	81 - 98 [74 - 90]	0.5	2
121 - 142 [111 - 130]	0.6	3	99 - 116 [91 - 106]	0.6	2
143 - 150 [131 - 137]	0.7	3	117 - 134 [107 - 122]	0.7	3
*150ヤード [137メートル]を超える調整値は、管轄地域の承認された協会に問い合わせること。			135 - 150 [123 - 137]	0.8	3
			*150ヤード [137メートル]を超える調整値は、管轄地域の承認された協会に問い合わせること。		

注：異なるティーを組み合わせる場合、採用可能なスコアを提出するために最新のコースレーティングとスロープレーティングが必ず必要である。競技を管理する委員会が異なるティーを組み合わせる場合、この臨時レーティングの手順を使用することができる。但し、この手順で決定したレーティングは、正式または恒久的なコースレーティングとスロープレーティングに取って代わるものではない。

(ii) 恒久的な改造

恒久的なゴルフコースの改造を実施する場合、ゴルフ倶楽部は必ずその旨を承認された協会に通知しなければならない。承認された協会は、恒久的な改造を実施したゴルフコースの既存のコースレーティングとスロープレーティングを検証し、再査定が必要か否かを判断する必要がある。

索引

	規則	ページ
アクティブシーズン	2.1	26
管轄地域		
- 承認された協会	1.3	20
- WHSの登録商標	1.2	19
- ハンディキャップ規則の使用承認	1.2	19
- プレーヤーの管轄地域外	2.1a(ii)	28
- プレーヤーの管轄地域内	2.1a(i)	28
キャップ		
- ソフトキャップ	5.8(i)	60
- ハードキャップ	5.8(ii)	60
- ローハンディキャップインデックス	5.7	58
コースハンディキャップ		
- 与えるハンディキャップストローク (プラスハンディキャップのプレーヤー)	付属規則C	92
- 受けるハンディキャップストローク	付属規則E	98
- 9ホールコースハンディキャップ	6.1b	64
- コースレーティング	付属規則G	102
- コースレーティングとパー	6.1	63
- 18ホールコースハンディキャップ	6.1a	63
- スロープレーティング	付属規則G	102
- ハンディキャップアローワンス	付属規則C	90
- プラスハンディキャップのプレーヤー	付属規則C	92
- プレーイングハンディキャップ	6.2	65
- プレーした9ホールに基づく18ホールコースハンディキャップ	6.1a	63
コースレーティング		
- コースハンディキャップ	6.1	63
- コースレーティングとスロープレーティングの発行	付属規則G	102
- ゴルフコースの実測距離	付属規則G	102
- 実効プレー距離	付属規則G	102
- 障害	付属規則G	102
- スクラッチプレーヤー	付属規則G	102
- スロープレーティング	付属規則G	102
- ボギープレーヤー	付属規則G	102

	規則	ページ
- ボギーレーティング	付属規則G	102
ゴルフ規則		
- 採用可能なスコア	2.1	26
- スコアの証明	4.4	44
- ハンディキャップナンバーの割り当て	付属規則E	98
ゴルフ倶楽部		
- ゴルフ倶楽部のメンバー	1.4a	22
- スコアを提出する責任	5.4/2	53
- パーの裁定	付属規則A	81
- ハンディキャップ委員会	1.3(iii)	21
- ホーム倶楽部	1.4b	22
ゴルフコース		
- 改造	付属規則G	103
- コースの実測	付属規則G	102
- コースレーティング	付属規則G	102
- コースレーティングとパーの掲示	付属規則G	102
- スロープレーティング	付属規則G	102
- ティーマーカー	付属規則G	102
- 臨時の改造	付属規則G	103
採用可能なスコア		
- アクティブシーズン	2.1	26
- ゴルフ規則に従ったプレー	2.1b	31
- 最少ホール数	2.2a/2.2b	33
- 承認されたプレー形式	2.1a	28
- スコアの証明	4.4	44
- 臨時のグリーンまたはティー	2.1/3	27
承認された協会		
- 管轄地域	1.3(iv/v)	21
- 責任	付属規則A	80
- 地区協会	1.3(iii)	21
- ナショナル協会	1.3(iv)	21
- パーの裁定	付属規則A	81
- マルチナショナル協会	1.3(v)	21
承認されたプレー形式		
- 一般のプレー	2.1a	28
- 9ホール	2.2b	33
- 競技	2.1a	28

	規則	ページ
- 個人ストロークプレー	2.1a	28
- 個人マッチプレー	2.1a	28
- 最大スコア	2.1a	28
- 18ホール	2.2a	33
- ステープルフォード	2.1a	28
- パー/ボギー	2.1a	28
- ハンディキャップアローワンス	付属規則C	90
- フォアボール・ストロークプレー	2.1a	28
- フォアボール・マッチプレー	2.1a	28
- プレーヤーの管轄地域外	2.1a(ii)	28
- プレーヤーの管轄地域内	2.1a(i)	28
スクラッチプレーヤー		
- コースレーティング	付属規則G	102
- スロープレーティング	付属規則G	102
- ハンディキャップインデックス	5.2	50
スコア記録		
- スコア記録に登録する情報	付属規則B	86
- ハンディキャップ委員会	付属規則B	84
- ホーム倶楽部	付属規則B	84
スコア相互検証		
- スコア記録	付属規則B	84
- スコアの証明	4.4	44
スコアタイプ		
付属規則B 88		
スコアディファレンシャル		
- 9ホールスコア	5.1b	48
- 18ホールスコア	5.1a	48
- スコアディファレンシャルの計算	5.1	48
- 例外的なスコア	5.9	61
スコアの証明		
- スコア相互検証	4.4	44
スコアの提出		
- 終了しなかったラウンド	3.2	36
- スコア提出の期限	4.3	43
- スコアを提出しなかった場合	7.1b	72
- スコアを提出できる者	4.2	43
- スタートしたがホールアウトしなかったホール	3.3	38
- 適時の提出	4	42

	規則	ページ
- プレーしなかったホール	3.2	36
- ホール・バイ・ホール・スコアの提出	4.1a(ii)	42
スロープレーティング		
- 受けるハンディキャップストローク	6	63
- コースハンディキャップ	6.1	63
- コースレーティング	付属規則G	102
- ゴルフコース	付属規則G	102
- ボギーレーティング	付属規則G	102
- レーティングの掲示	付属規則G	102
ソフトキャップ		
5.8(i) 60		
調整グロススコア		
- スタートしたがホールアウトしなかったホール	3.3	38
- ネットダブルボギー	3.1b	35
- ハンディキャップインデックス取得後	3.1b	35
- ハンディキャップインデックス取得前	3.1a	34
- プレーしなかったホール	3.2	36
- ホールスコア上限	3.1	34
ネットダブルボギー		
- ホールスコアの上限	3.1b	35
ネットパー		
- プレーしなかったホール	3.2	36
パー		
- パーの設定	付属規則F	100
- ハンディキャップナンバーの割り当て	付属規則E	98
- ホール距離	付属規則F	100
ハードキャップ		
5.8(ii) 60		
ハンディキャップアローワンス		
- 受けるハンディキャップストローク/プラスハンディキャップのプレーヤーが与えるハンディキャップストローク	付属規則C/3	93
- 延長ホール	付属規則C	92
- コースハンディキャップ	6.1	63
- ハンディキャップ競技	付属規則C	90
- プラスプレーイングハンディキャップ	付属規則C	92
- プレーイングハンディキャップ	6.2	65
- プレー形式	付属規則C	90
ハンディキャップ委員会		
- 委員会の行動	7	68

	規則	ページ
- 競技の条件	7.2a	75
- スコアの提出	7.2b	75
- パーの裁定	付属規則A	81
- ハンディキャップ検証	7.1a	68
- プレーヤーのハンディキャップインデックスの修正	7.1a(ii)	69
- プレーヤーのハンディキャップインデックスの停止	7.1c	74
- プレーヤーのハンディキャップインデックスの復活	7.1d	74
- ペナルティースコア	7.1b	72
ハンディキャップインデックス		
- 実証された技量	5	48
- 初期ハンディキャップインデックス	4.5	45
- スコアディファレンシャルの計算	5.1	48
- スコアの有効期限	5.5	54
- ステークホルダーの責任	付属規則A	78
- ソフトキャップ	5.8(i)	60
- 調整値	5.2a	50
- 20枚の場合	5.2b	52
- 20枚未満の場合	5.2a	50
- ハードキャップ	5.8(ii)	60
- ハンディキャップ委員会の行動	7	68
- ハンディキャップインデックス計算	5.2	50
- ハンディキャップインデックスの上限	5.3	52
- ハンディキャップの失効	5.5	54
- プラスハンディキャップインデックス	5.2c	52
- ローハンディキャップインデックス	5.7	58
ハンディキャップ規則		
- WHSの使用承認	1.2	19
ハンディキャップ検証		
- 怪我をしたプレーヤー	7.1a/2	72
- 他の倶楽部に修正を要求する	付属規則D	97
- ハンディキャップ委員会	7.1	68
- ハンディキャップインデックスの修正	7.1a(ii)	68
- ハンディキャップインデックスの凍結	7.1a(ii)	69
- ハンディキャップインデックスのリセット	7.1a(ii)	69
- プレーヤーが修正を要求する場合	7.1a(i)	68
ハンディキャップナンバー		
- 委員会の手順	付属規則E	98

	規則	ページ
- 9ホールプレーのハンディキャップナンバーの割り当て	付属規則E	99
- コースレーティングシステム	付属規則G	102
- 18打を超えるハンディキャップストロークを受ける場合	付属規則E	98
- ハンディキャップストローク	6	63
- ハンディキャップナンバーの割り当て	付属規則E	98
非アクティブシーズン		
プレーイングコンディション計算 (PCC)		
- アウェイスコアをホーム倶楽部に提出した	5.6/5	57
- 9ホールスコア	5.1b	48
- 最低8枚の採用可能なスコア	5.6	54
- スコア提出の期限	4.3	43
- スコアディファレンシャルの計算	5.1	48
- 対象プレーヤー	5.6/1	55
- 同一日に個別のPCCを実行する	5.6/3	56
- 同一日に複数のPCCを実行する	5.6/2	56
- 27ホールコース	5.6/6	57
- ハンディキャップインデックスの計算	5.6	54
- PCC調整値の範囲	5.6	54
- 毎日のプレーイングコンディション計算	5.6	54
プレーイングハンディキャップ		
- コースハンディキャップ	6.1	63
- プレーイングハンディキャップの計算	6.2	65
ペナルティースコア		
- スコアが入手可能な場合	7.1b(ii)	72
- 不当な利益を得る	7.1b(ii)	72
- 正当な理由でスコアを提出しなかった	7.1b(i)	72
- 正当な理由なくスコアを提出しなかった	7.1b(ii)	73
- ペナルティースコアの適用	7.1b	72
ホーム倶楽部		
- 管轄地域	1.4b/3	23
- 単一のスコア記録	付属規則A	78
- ハンディキャップ委員会	7.1	68
- ハンディキャップインデックス	付属規則A	78
- ホーム倶楽部の指定	1.4b	22
ホールスコア上限		
- ネットダブルボギー	3.1b	35

	規則	ページ
- ハンディキャップインデックス取得後	3.1b	35
- ハンディキャップインデックス取得前	3.1a	34
ボギープレーヤー	付属規則G	102
メンバー		
- ゴルフ倶楽部に所属する	1.4a	22
- 複数の倶楽部のメンバー	1.4b/3	23
例外的なスコア		
- スコア記録	付属規則B	87
- スコアディファレンシャル	5.9	61
- 調整の効果を持続させる	5.9	61
- 低減	5.9	61
- ハンディキャップ委員会	7.1	68
- ハンディキャップインデックスの修正	7.1a(ii)	69
- ハンディキャップ検証	7.1a	68
ローハンディキャップインデックス		
- スコア記録	5.7	58
- 対象期間	5.7/1	58
- 20枚の採用可能なスコア	5.7	58

ハンディキャップ規則

2020年2月1日 初版発行

発行者 (公財) 日本ゴルフ協会

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-12-5 京橋 YSビル 2階

TEL 03-3566-0003

www.jga.or.jp

無断複製転載を禁ず